

# 富山市営駐車場経営戦略

令和8年3月

富 山 市



## 目 次

1	策定の趣旨 .....	1
2	事業概要 .....	1
3	事業を取り巻く環境の変化.....	7
4	富山市中心市街地及び駐車場の現状 .....	11
5	将来の事業環境.....	17
6	経営の基本方針 .....	20
7	投資・財政計画（収支計画） .....	21
8	公営企業として実施する必要性など .....	26
9	経営戦略の事後検証、改定等に関する事項 .....	26
10	各駐車場の経営戦略.....	27
	（1）富山市営城址公園駐車場.....	27
	（2）富山市営桜町駐車場 .....	33
	（3）富山市営総曲輪駐車場 .....	39
	（4）富山市営富山駅北駐車場.....	45

# 富山市駐車場事業経営戦略

団 体 名： 富山市

---

事 業 名： 駐車場事業

---

策 定 日： 令和 8 年 3 月

---

計 画 期 間： 令和 8 年度 ~ 令和 17 年度 (10年間)

---

## 1 策定の趣旨

駐車場事業を含む公営企業においては、今後の施設の老朽化に伴う更新需要の増大が見込まれるなど、経営環境が厳しさを増す中、将来にわたり住民生活に必要なサービスを安定的に提供していくことが求められている。

このことから、経営基盤の強化と財政マネジメントの向上を図ることを目的として、平成 31 年 3 月に策定した中長期的な経営の基本計画である「経営戦略」を改定し、持続可能なサービスの提供及び駐車場事業の安定的な運営を目指すもの。

## 2 事業概要

### (1) 施設の概要

#### ア 富山市営城址公園駐車場

構造・駐車面積： 鉄筋コンクリート地下 1 階建 4,194.26 m<sup>2</sup>

収 容 台 数： 普通自動車 98 台（うち、障害者等用 3 台、おやこパーキング 3 台）

開 設 年： 昭和 46 年（1971 年）

立地及び特徴： 城址公園の地下に位置し、城址公園及び文化施設などの利用者の駐車場として利用されている。4 つの市営駐車場の中では最も規模が小さく、開業年も古い。平成 19 年度に大規模な改修が行われている。

#### イ 富山市営桜町駐車場

構造・駐車面積： 鉄筋及び鉄骨造地上7階建 7,144.67㎡

収容台数： 普通自動車286台（うち、障害者等用5台、おやこパーキング8台）

開設年： 平成元年（1989年）

立地及び特徴： 富山駅南側に位置し、富山駅前桜町地区再開発として整備された。駐車場と飲食店等が入る商業ビルで、北側に位置する同時期に整備された大型商業ビル（C i Cビル）と連絡通路で接続していることから、C i Cビルの付帯駐車場としての性格が強い。

現在、C i Cビルには、とやま市民交流館、とやまこどもプラザ、とやま駅南図書館「ぶらり」等の公共施設が多く入居している。

#### ウ 富山市営総曲輪駐車場

構造・駐車面積： 鉄骨造地上6階建 10,190.98㎡

収容台数： 普通自動車400台（うち、障害者等用6台、おやこパーキング3台）、バス4台

開設年： 平成元年（1989年）

立地及び特徴： 総曲輪通りのあるブロックの北側に位置し、総曲輪2丁目地区再開発として整備された。中心商店街利用者の駐車場として利用されており、周辺では再開発事業による大型商業施設や映画館等の民間施設、美術館や図書館等の公共施設が整備されている。

#### エ 富山市営富山駅北駐車場

構造・駐車面積： 鉄骨地上7階建 12,001.58㎡、平面 4,460㎡

収容台数： 屋内 普通自動車517台（うち、障害者等用8台、おやこパーキング5台）、屋外 バス16台

開設年： 平成8年（1996年）

立地及び特徴： 富山駅北側に位置しており、駐車場周辺には文化施設（オーバード・ホール）やスポーツ施設（YKKAP アリーナ（旧市総合体育館）、飲食店やオフィスが入居する複合施設からの利用が多いほか、富山駅に隣接していることからパークアンドライドの利用も多い。

## (2) 市営駐車場の利用状況

市営駐車場全体の利用台数は、令和元年度まで減少傾向にあり、令和2年度には新型コロナウイルス感染症の影響を受け、さらに大きく減少している。令和3年度から増加に転じ、直近の令和6年度まで増加しているものの、未だ新型コロナウイルス感染拡大以前の水準には至っていない。

### 【駐車場ごとの状況】

#### ア 城址公園駐車場

一時利用は、令和元年度まで増加と減少を繰り返した後、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、令和3年度は近年で最も少ない駐車台数となっている。その後は、増加傾向にあるものの、未だ新型コロナウイルス感染拡大以前の水準には至っていない。

定期利用も減少が続き、令和2年度は近年で最も少ない駐車台数となっている。その後は、増加傾向にあったものの、令和6年度は減少に転じている。

#### イ 桜町駐車場

一時利用は、平成28年度から令和2年度まで減少傾向にあり、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けた令和2年度の駐車台数は、近年では最も少なくなっている。その後は増加傾向にあるものの、未だ新型コロナウイルス感染拡大以前の水準には至っていない。

定期利用は、平成29年度まで増加が続いていたものの、平成30年度に減少に転じて以降、減少傾向は続いており、直近の令和6年度は近年で最も少ない駐車台数となっている。

#### ウ 総曲輪駐車場

一時利用は、平成28年度に大きく減少して以降、減少傾向が続いた後、令和2年度には新型コロナウイルス感染症の影響を受け、再度大きく減少したことにより、近年では最も少ない駐車台数となっている。その後は、増加傾向にあるものの、新型コロナウイルス感染拡大以前の水準とは大きく乖離したままとなっている。

定期利用は、近年まで減少傾向が続いており、直近の令和6年度は最も少ない駐車台数となっている。

その他利用は主に大型バスの駐車に利用されており、平成30年度まで増加傾向にあったものの、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、令和元年度から減少し、令和2年度には最も少ない駐車台数となった。その後は、増加傾向となり、直近の令和6年度は新型コロナウイルス感染拡大以前の水準にまで回復している。

## エ 富山駅北駐車場

一時利用は、平成 28 年度から令和 2 年度まで減少が続き、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けた令和 2 年度の駐車台数は、近年では最も少なくなっている。その後は、富山駅の高架化に合わせて整備が進められてきた、富山駅の南北を繋ぐ道路（富山駅南北線外）が令和 3 年度に開通し、その周辺に位置する駐車場の利便性が向上したこともあり、近年まで増加が続き、直近の令和 6 年度は最も多い駐車台数となっている。

定期利用は、令和元年度まで増加と減少を繰り返した後、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、令和 2 年度は近年で最も少ない駐車台数となったものの、その後は、増加に転じて以降、増加傾向は続いており、直近の令和 6 年度は最も多い駐車台数となっている。

その他利用は主に大型バスの駐車に利用されており、平成 30 年度まで増加傾向にあった。観光需要の高まりを受け、令和元年度から令和 4 年 8 月まで大型バス用駐車区画の増設工事を実施し、再開以降は、順調に利用が増え、直近の令和 6 年度は最も多い駐車台数となっている。

## ■ 市営駐車場の利用状況の推移

区分		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	平均値 (H27～R6)	
		2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度		
城址公園	一時利用	利用台数(台)	47,024	54,801	42,600	42,722	44,760	21,588	19,865	33,821	34,079	35,443	
		利用料金(千円)	27,911	30,980	24,509	24,221	23,625	10,599	9,845	16,622	15,854	15,625	
		単価(円/台)	594	565	575	567	528	491	496	491	465	441	521.3
	定期利用	利用台数(台)	23,379	22,097	22,657	21,360	21,144	18,406	19,234	20,128	20,494	19,039	
		利用料金(千円)	16,268	15,782	15,698	15,247	15,385	14,008	13,949	12,068	13,675	13,140	
		単価(円/台)	696	714	693	714	728	761	725	600	667	690	698.8
	その他	利用台数(台)											
		利用料金(千円)											
		単価(円/台)											
	合計	利用台数(台)	70,403	76,898	65,257	64,082	65,904	39,994	39,099	53,949	54,573	54,482	
利用料金(千円)		44,179	46,762	40,207	39,468	39,010	24,607	23,794	28,690	29,529	28,765		
桜町	一時利用	利用台数(台)	156,127	156,333	147,738	142,690	132,159	90,138	99,811	109,470	109,701	118,433	
		利用料金(千円)	67,843	64,672	59,857	57,670	56,681	37,795	43,139	43,544	44,486	44,563	
		単価(円/台)	435	414	405	404	429	419	432	398	406	376	411.8
	定期利用	利用台数(台)	56,129	65,570	65,933	64,914	63,212	54,461	56,597	55,113	46,499	46,247	
		利用料金(千円)	49,076	56,515	56,544	56,467	53,487	48,111	52,153	52,929	48,084	47,675	
		単価(円/台)	874	862	858	870	846	883	921	960	1,034	1,031	914.0
	その他	利用台数(台)											
		利用料金(千円)											
		単価(円/台)											
	合計	利用台数(台)	212,256	221,903	213,671	207,604	195,371	144,599	156,408	164,583	156,200	164,680	
利用料金(千円)		116,919	121,187	116,401	114,137	110,168	85,906	95,292	96,473	92,570	92,238		
総曲輪	一時利用	利用台数(台)	93,345	79,295	72,216	71,399	61,641	30,622	31,967	36,298	36,333	36,448	
		利用料金(千円)	43,019	37,413	32,372	28,983	24,324	10,459	9,147	11,446	13,867	14,108	
		単価(円/台)	461	472	448	406	395	342	286	315	382	387	389.3
	定期利用	利用台数(台)	113,107	108,876	108,409	98,210	89,084	69,522	68,013	68,392	63,464	58,081	
		利用料金(千円)	85,387	77,941	75,855	70,198	64,194	50,906	51,361	50,434	45,448	43,039	
		単価(円/台)	755	716	700	715	721	732	755	737	716	741	728.8
	その他	利用台数(台)	229	232	266	435	368	43	82	131	303	401	
		利用料金(千円)	796	781	958	1,751	1,375	130	375	434	999	1,225	
		単価(円/台)	3,476	3,366	3,602	4,025	3,736	3,023	4,573	3,313	3,297	3,055	3,546.7
	合計	利用台数(台)	206,681	188,403	180,891	170,044	151,093	100,187	100,062	104,821	100,100	94,930	
利用料金(千円)		129,202	116,135	109,185	100,932	89,893	61,495	60,883	62,314	60,314	58,372		
富山駅北	一時利用	利用台数(台)	105,565	93,227	90,896	83,862	81,641	36,470	54,260	76,093	82,434	106,340	
		利用料金(千円)	97,050	84,554	82,826	74,907	70,075	28,453	39,805	51,415	58,738	63,610	
		単価(円/台)	919	907	911	893	858	780	734	676	713	598	798.9
	定期利用	利用台数(台)	39,019	42,325	42,783	41,466	42,878	31,629	34,604	34,500	37,248	50,090	
		利用料金(千円)	38,990	39,502	43,345	38,919	44,192	36,208	39,313	37,594	37,887	55,117	
		単価(円/台)	999	933	1013	939	1,031	1,145	1,136	1,090	1,017	1,100	1,040.2
	その他	利用台数(台)	786	824	946	1,019	0	0	0	410	2,047	2,953	
		利用料金(千円)	2,249	2,647	3,118	3,190	0	0	0	1,155	7,781	12,089	
		単価(円/台)	2,861	3,212	3,296	3,131	0	0	0	2,817	3,801	4,094	3,315.9
	合計	利用台数(台)	145,370	136,376	134,625	126,347	124,519	68,099	88,864	111,003	121,729	159,383	
利用料金(千円)		138,289	126,703	129,289	117,016	114,267	64,661	79,118	90,164	104,406	130,816		
合計	利用台数(台)	634,710	623,580	594,444	568,077	536,887	352,879	384,433	434,356	432,602	473,475		
	利用料金(千円)	428,589	410,787	395,082	371,553	353,338	236,669	259,087	277,641	286,819	310,191		

注) 富山駅北のその他の利用料金単価平均値は、令和元年度から令和3年度を除く

※ 「一時利用」(現金、回数券駐車券、パーキングカード) = 普通車など

「定期利用」 = 1か月単位の契約

「その他」 = 大型バスなどの利用

### (3) 現在の経営状況

平成28年度に地方債の償還を完了したこと、また、令和元年度までは一般会計への繰出金が150,000千円を超えるなど、安定した経営となっていたが、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、令和2年度に駐車場使用料は大幅に減少した。

令和3年度からは増加に転じ、近年は、増加傾向にあるものの、未だ新型コロナウイルス感染拡大以前の水準には至っていない。

### ■ 富山市駐車場事業特別会計の歳入歳出決算状況

【歳入】

(千円)

区分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
駐車場使用料	428,590	410,789	395,081	371,554	353,339	236,668	259,087	277,641	286,819	310,191
行政財産目的外使用料	118	138	169	173	182	176	174	174	174	166
利子及び配当金	347	70	392	47	54	127	38	38	38	287
一般会計繰入金	0	0	0	540	0	0	0	30,892	0	0
基金繰入金	25,218	0	0	0	0	0	0	0	0	0
繰越金	9,879	19,521	4,203	0	0	0	0	0	0	12,694
諸収入	0	125	0	0	0	0	4,531	0	0	1,904
合計	464,152	430,643	399,845	372,314	353,575	236,971	263,830	308,745	287,031	325,242

【歳出】

(千円)

区分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
駐車場管理費	198,870	188,845	184,367	200,427	190,176	197,839	188,229	207,499	194,462	216,947
人件費	7,895	9,941	10,054	10,165	9,248	8,165	8,130	9,278	9,312	9,612
委託料	121,993	141,252	140,537	134,903	149,851	157,052	151,231	165,808	151,914	170,779
使用料及び賃借料	11,805	11,805	11,923	14,746	14,746	15,126	18,900	20,167	20,870	21,800
工事請負費	25,218	0	0	19,800	0	0	0	0	0	0
その他経費	31,959	25,847	21,853	20,813	16,331	17,496	9,968	12,246	12,366	14,756
繰出金	155,297	185,463	215,478	171,887	163,399	39,132	75,601	101,246	79,875	88,201
一般会計繰出金	155,297	185,463	215,478	171,887	163,399	39,132	75,601	101,246	79,875	88,201
公債費	90,464	52,132	0	0	0	0	0	0	0	0
公債費	90,464	52,132	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	444,631	426,440	399,845	372,314	353,575	236,971	263,830	308,745	274,337	305,148
収支差引	19,521	4,203	0	0	0	0	0	0	12,694	20,094

### 3 事業を取り巻く環境の変化

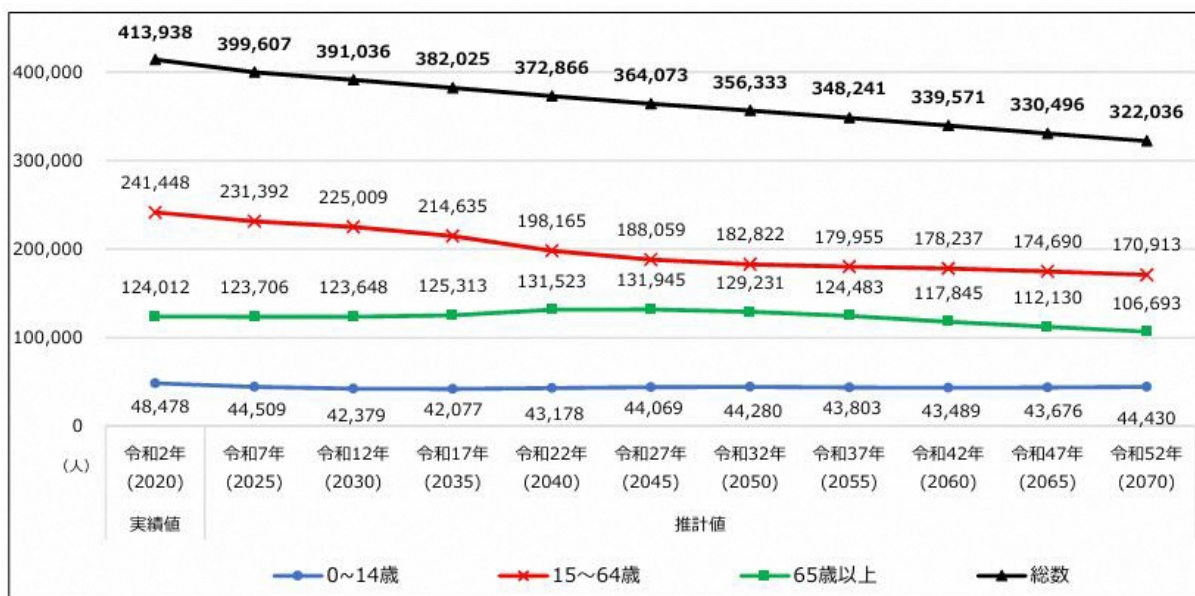
#### (1) 富山市の今後の人口分析

本市の総人口は、今後も減少が続くと見込まれている。

特に、自動車を多く使用する生産年齢人口（15～64歳人口）では、令和7年の231,392人に対し10年後の令和17年は214,635人と、約7%の減少を見込み、以降もさらなる減少が続くと分析されている。

老年人口（65歳以上人口）においては、令和7年の123,706人に対し令和17年は125,313人と、上昇すると見込まれており、以降もしばらくは上昇が続くものの、いずれ減少に転じるものと分析されている。

#### ■ 総人口の将来見通し

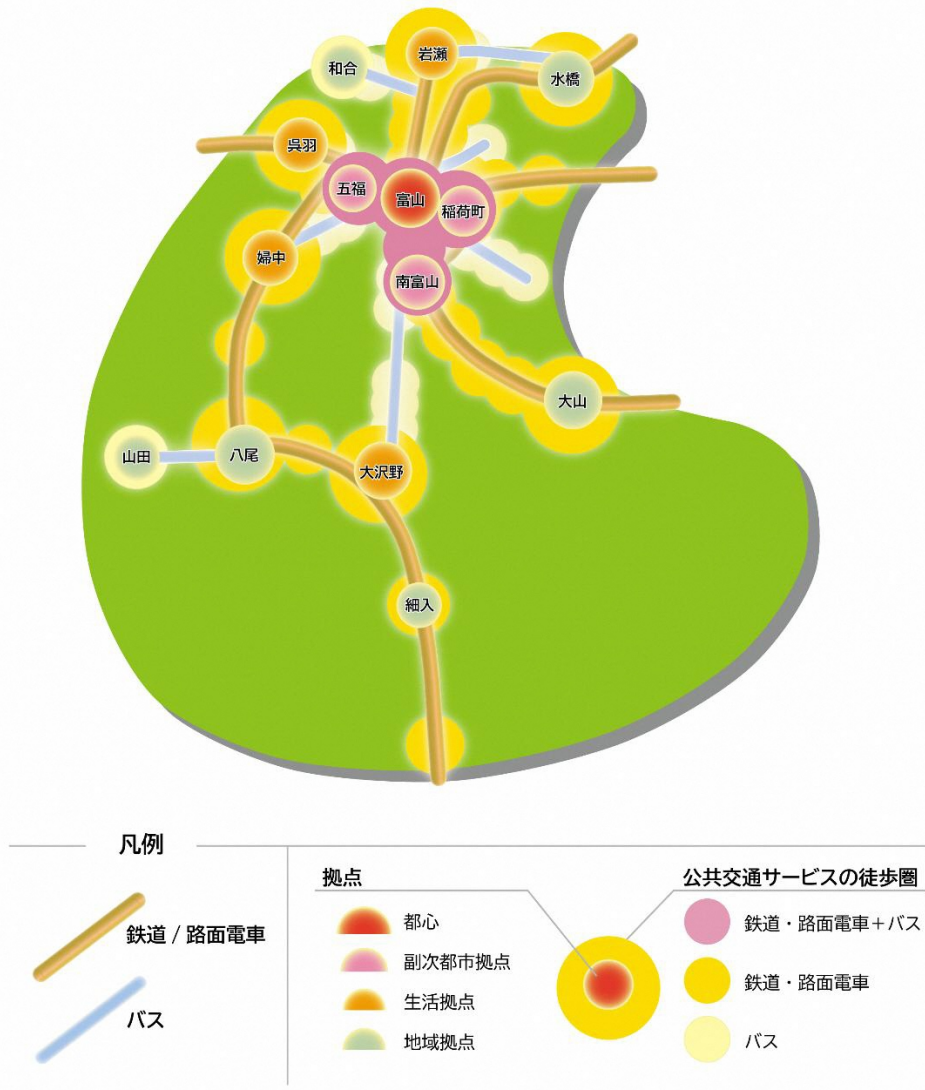


資料：富山市人口ビジョン【第3版】

## (2) 富山市の都市構造と都心地区の土地利用方針

本格的な人口減少と社会情勢の変化に対応し都市の活力を創出するため、公共交通の活性化と、その沿線に居住や都市機能の集積を図るコンパクトなまちづくりを継続すること、また、地域資源の魅力を最大化する拠点の形成や既成市街地の利活用により、『公共交通を軸とした都市の再構築による拠点集中型のコンパクトなまちづくり』の実現を市民と共に目指している。

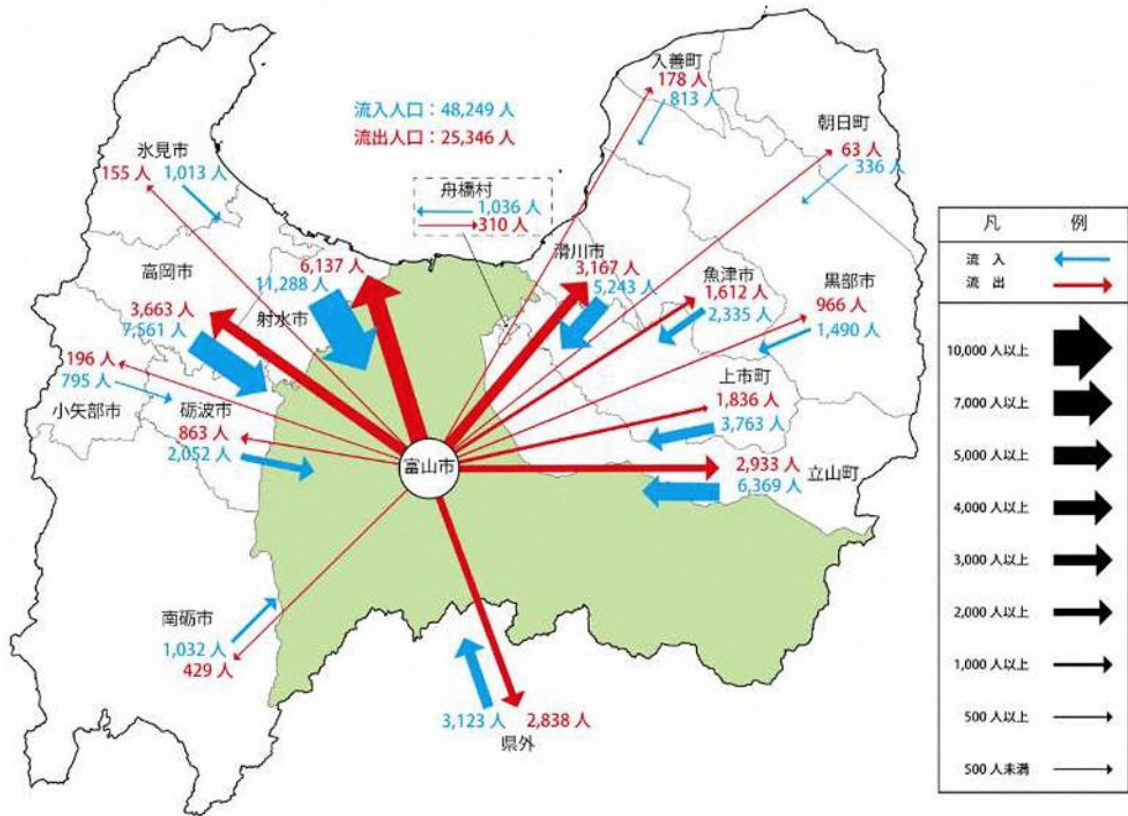
市営駐車場が位置する富山駅周辺から総曲輪地区にかけての市街地の土地利用方針は、広域商業地区として位置付け、再開発や中心商店街の活性化などを進めながら、中核的な商業機能を誘導するとともに、集客力のあるスポーツ・レクリエーション機能や、教育文化、業務、医療、福祉などの多様な機能を誘導し、まちなかの賑わいや魅力の向上を図るとしている。また、商業などの生活関連機能の集積を活かしたまちなか居住を推進する方針である。



### (3) 富山市の通勤・通学移動の状況

富山市における通勤・通学者の流入人口と流出人口を比較すると、県内市町村及び県外の全てに対し、流入人口が流出人口を上回っており、全体で22,903人の流入超過となっている。

#### ■ 富山市における通勤・通学者の流入人口、流出人口



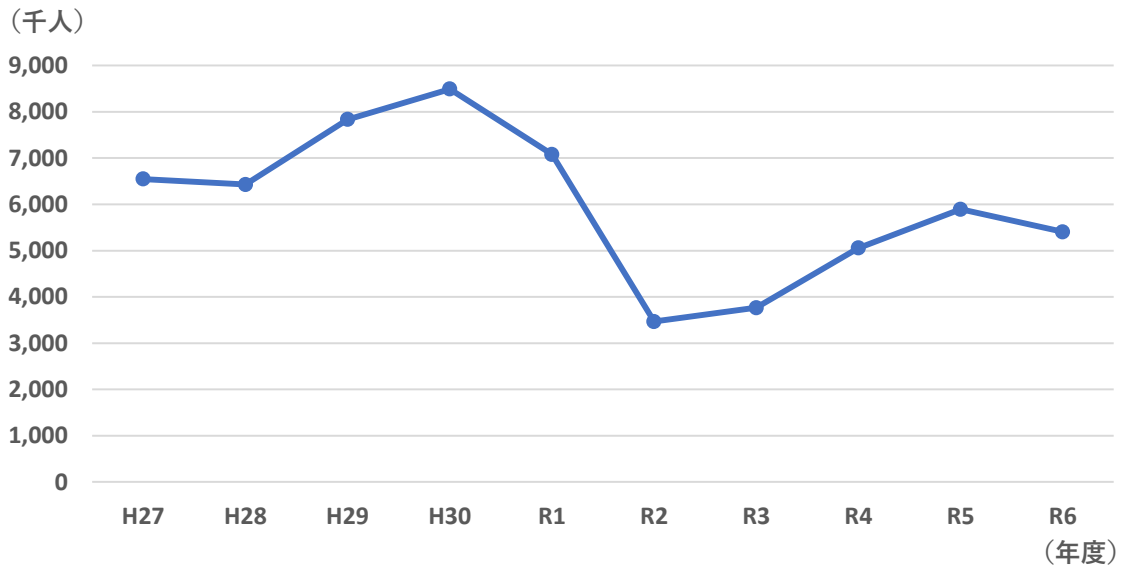
資料：令和2年 国勢調査

#### (4) 富山市の観光客の状況

富山市の観光客入込数及び宿泊者数ともに、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、令和2年度に大幅に減少している。

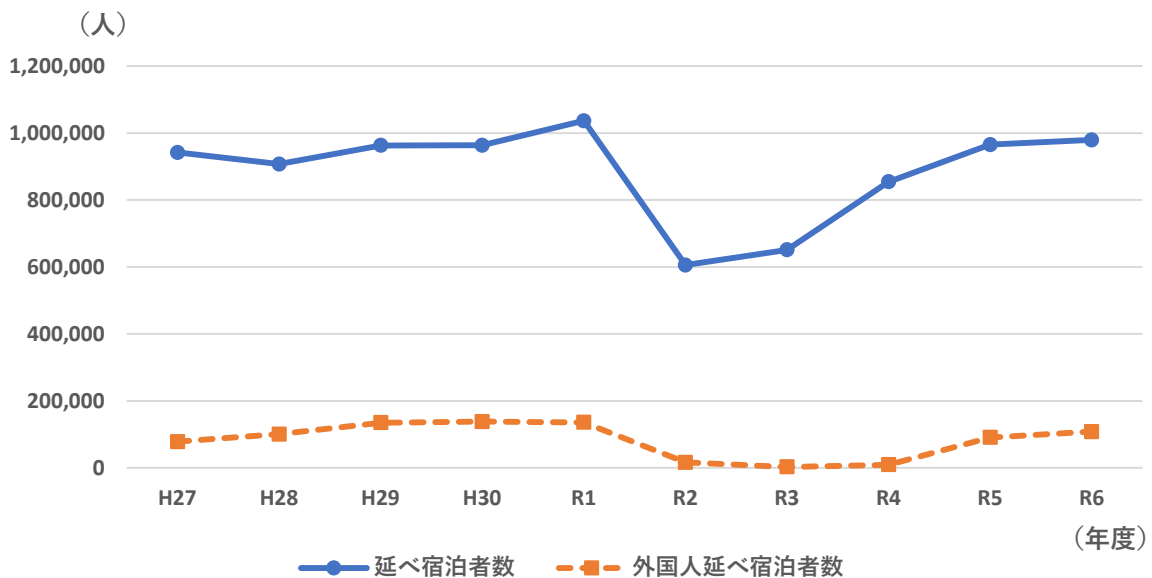
令和3年度からは増加に転じ、近年は、増加傾向にあるものの、観光客入込数については、未だ新型コロナウイルス感染拡大以前の水準には至っていない。

#### ■ 富山市観光客入込数



資料：富山県HP「富山県観光客入込数等」

#### ■ 富山市延べ宿泊者数



資料：観光庁「宿泊旅行統計調査」

## 4 富山市中心市街地及び駐車場の現状

### (1) 富山市中心市街地の現状

#### ア 富山市中心市街地の状況

富山駅周辺では、平成 27 年 3 月に北陸新幹線が開通して以降、新たな商業施設やホテルなどの建設、開業が続き、それに伴い大型駐車場の整備も相次いでいる。

また、中心商店街においても、平成 27 年度に TOYAMA キラリが開業して以降、映画館と大型駐車場等が入る複合施設などが整備されている。

#### ■ 中心市街地の主な出来事および周辺の時間貸し大型駐車場（100 台程度）等の整備状況

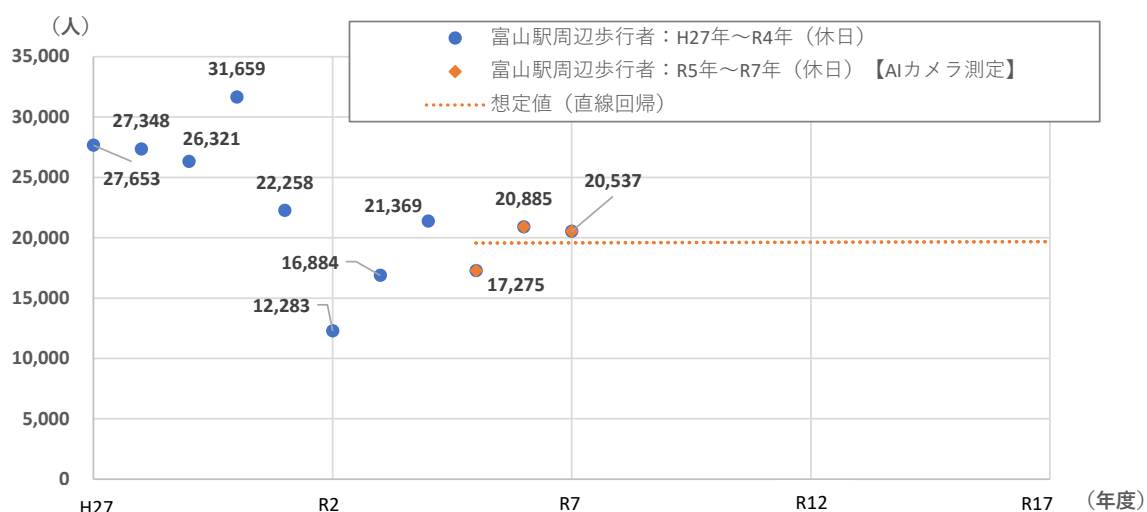
年度	富山駅周辺	中心商店街	城址公園周辺
平成 27 年度 (2015 年度)	※アパヴィラパーキング（現 NPC24H 富山駅前スクエアパーキング）（190 台）整備	TOYAMA キラリオープン	
平成 28 年度 (2016 年度)	ととやまオープン ※NPC24H 富山新桜町第 2 パーキング（131 台）、富山駅前第二駐車場整備（100 台）	ユウタウン総曲輪オープン、御宿野乃（151 室）オープン ※NPC24H ユウタウン総曲輪パーキング（432 台）整備	
平成 29 年度 (2017 年度)	富山県立美術館オープン ※富岩運河環水公園立体駐車場（73 台）整備	総曲輪レガートスクエアオープン ※D パーキングレガートスクエア（325 台）整備	
平成 30 年度 (2018 年度)	パティオさくら竣工、東横 INN 富山駅新幹線口 2（313 室）オープン ※タイムズ富山駅前立体（255 台）整備		
令和元年度 (2019 年度)	路面電車南北接続 ダイワロイネットホテル富山駅前（204 室）オープン		城址公園大型バス駐車場有料化
令和 2 年度 (2020 年度)	とやマルシェ増床オープン	SOGAWA BASE オープン	
令和 3 年度 (2021 年度)	富山駅南北線開通 MAROOT（マルート）、ホテルヴィスキオ富山 by GRANVIA（182 室）オープン、ホテル JAL シティ富山（252 室）オープン ※タイムズマルート（400 台）整備		
令和 4 年度 (2022 年度)	ダブルツリー by ヒルトン富山（201 室）オープン 北陸新幹線敦賀開業		
令和 5 年度 (2023 年度)	オーバード・ホール/中ホール開館 Nix Urban Skate Park オープン 牛島パークフロントオープン		
令和 6 年度 (2024 年度)	D タワー富山オープン		
令和 7 年度 (2025 年度)	C i Cビル内に県「こども総合サポートプラザ」開設	ホテルエノエ富山（227 室）オープン	スーパーホテル Premier 富山・城址公園前（124 室）オープン

## イ 市営駐車場周辺の中心市街地歩行者通行量

富山駅周辺の歩行者通行量は、平成 30 年度に近年では最も多い 31,659 人を記録したが、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、令和 2 年度は 12,283 人と最も少なかった。その後は、増加と減少を繰り返しており、新型コロナウイルス感染拡大以前の水準とは大きく乖離したままとなっている。

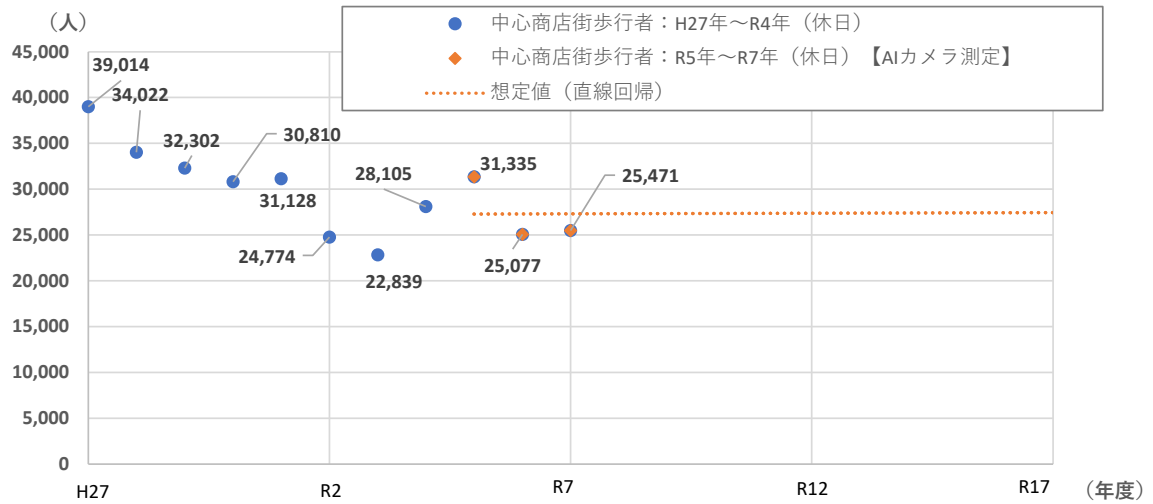
また、中心商店街の歩行者通行量も、減少傾向にあったところに新型コロナウイルス感染症の影響を受け、令和 3 年度は 22,839 人と最も少なかった。その後は、増加と減少を繰り返しており、未だ新型コロナウイルス感染拡大以前の水準には至っていない。

### ■ 富山駅周辺（平成 22（2015）年度～令和 7（2025）年度）



資料：平成 22 年～令和 4 年「歩行者通行量調査結果概要版(富山市、富山商工会議所)」、  
令和 5 年～令和 7 年「富山市 AI カメラシステム」より  
※調査地点：富山駅北口（西側・中央・東側）、富山駅地下道南口、  
マリエとやま西側、C i Cビル東側、パティオさくら前

■ 中心商店街（平成 22（2015）年度～令和 7（2025）年度）



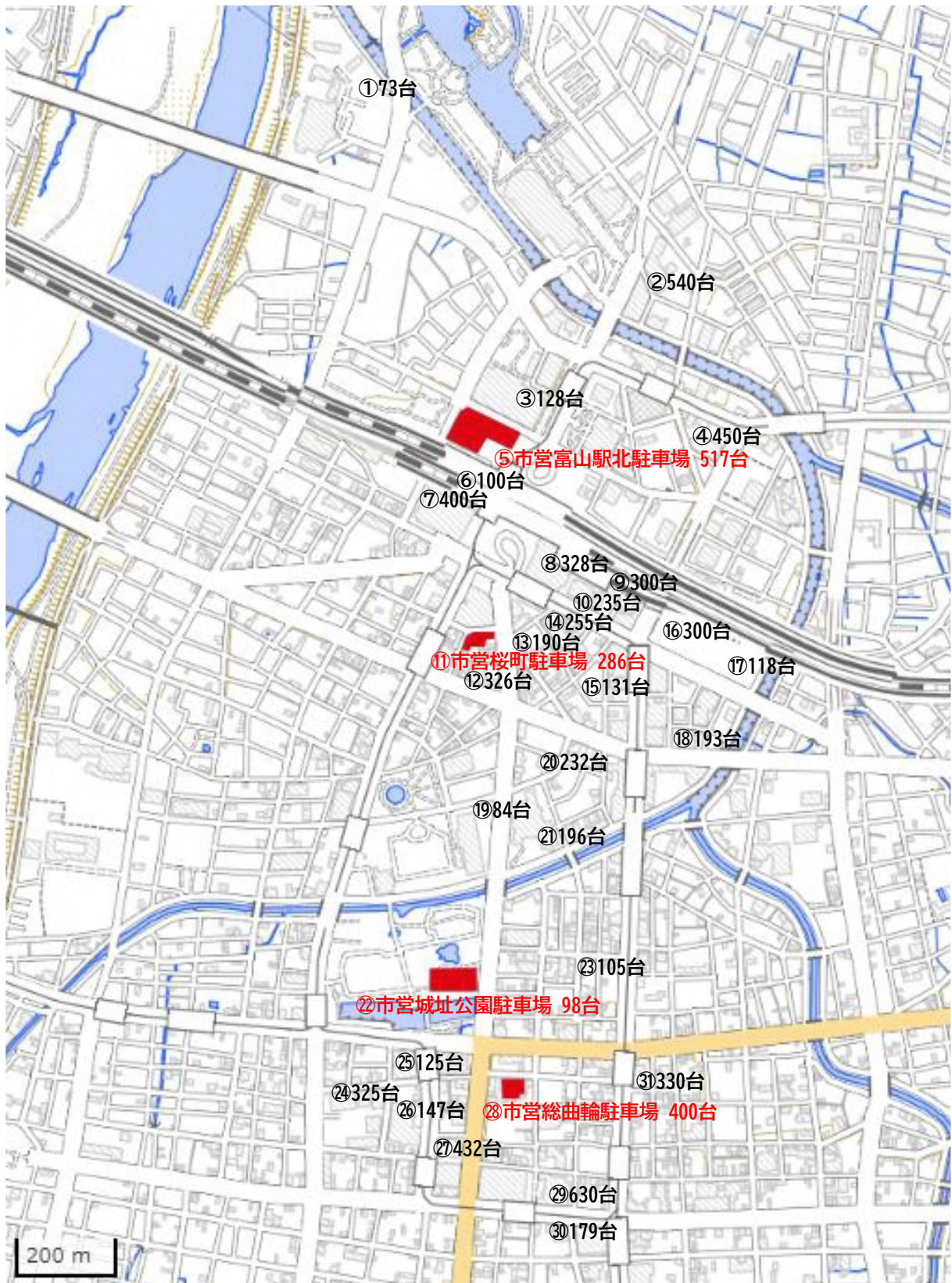
資料：平成 22 年～令和 4 年「歩行者通行量調査結果概要版(富山市、富山商工会議所)」、  
 令和 5 年～令和 7 年「富山市 AI カメラシステム」より  
 ※調査地点：総曲輪フェリオ北西側、エルサカエ前、SOGAWA BASE 南側、  
 中央通り西口、北陸銀行本店北側、旧 P.O. BOX 前、マツイ電器店前、  
 旧メンズトゥモローパートⅡ前、インフェイズ前、まちなかミニ工房前

## (2) 市営駐車場の周辺状況

## ア 市営駐車場及び市営駐車場周辺の時間貸し大型駐車場(100 台程度)

エリア	No.	駐車場名	営業時間	駐車台数
富山駅北口	①	タイムズ富岩運河環水公園立体	24 時間	73
	②	富山北モータープール	24 時間	540
	③	アーバンプレイス (地下 1 階) 駐車場	24 時間	128
	④	タワー111 パーキング	24 時間	450
	⑤	富山市営富山駅北駐車場	24 時間	517
富山駅南口	⑥	富山駅前第二駐車場	24 時間	100
	⑦	タイムズマルート	24 時間	400
	⑧	タイムズマリエとやま	24 時間	328
	⑨	地鉄ビル駐車場	24 時間	300
	⑩	タイムズ富山南口 (旧 NPC24H 富山駅前パーキング)	24 時間	235
	⑪	富山市営桜町駐車場	24 時間	286
	⑫	チューゲキ駅前パーキング	24 時間	326
	⑬	NPC24H 富山駅前スクエアパーキング (旧アパヴィラパーキング)	24 時間	190
	⑭	タイムズ富山駅前立体	24 時間	255
	⑮	NPC24H 富山新桜町第 2 パーキング	24 時間	131
	⑯	富山地鉄ゴールデンボール駐車場	24 時間	300
	⑰	タイムズ富山千歳町	24 時間	118
	⑱	河口ビル駐車場	7:00~24:00	193
	⑲	県民会館駐車場	8:00~22:30※	84
	⑳	県営富山中央駐車場	24 時間	232
㉑	富山市役所駐車場	8:00~22:30※	196	
中心商店街	㉒	富山市営城址公園駐車場	24 時間	98
	㉓	D パーキング富山桜木町	24 時間	105
	㉔	D パーキングレガートスクエア	24 時間	325
	㉕	富山国際会議場地下駐車場	24 時間	125
	㉖	市民プラザ地下駐車場	8:00~22:00	147
	㉗	NPC24H ユウタウン総曲輪パーキング	24 時間	432
	㉘	富山市営総曲輪駐車場	24 時間	400
	㉙	グランドパーキング	24 時間	630
	㉚	タイムズ富山チューゲキ西町パーキング	24 時間	179
	㉛	荒町グリーンパーク	24 時間	330

※曜日、季節によって異なる



資料：地理院地図を加工して作成

イ 市営駐車場周辺の施設入館者数等の推移

年度	中心商店街	富山駅南口				富山駅北口	
	郷土博物館 (佐藤美術館含む)	とやま市民交流館	とやま駅南図書館	こども図書館	子育て支援センター	オーバード・ホール	オーバード・ホール 中ホール
	観覧者数(人)	駐車券交付枚数(枚)	入館者数(人)	入館者数(人)	利用者数(人)	入場者数(人)	入場者数(人)
平成27年度 (2015年度)	94,657	14,917	91,508	71,486	72,865	177,790	
平成28年度 (2016年度)	92,905	17,755	81,244	73,937	71,243	177,426	
平成29年度 (2017年度)	80,779	18,847	91,033	72,149	61,406	182,550	
平成30年度 (2018年度)	84,959	19,211	99,976	84,890	62,463	166,734	
令和元年度 (2019年度)	83,717	17,732	103,090	79,374	55,443	165,199	
令和2年度 (2020年度)	37,730	16,888	54,853	38,580	27,742	31,281	
令和3年度 (2021年度)	40,293	14,766	60,802	39,909	25,355	76,087	
令和4年度 (2022年度)	69,762	13,150	68,709	49,903	31,472	127,228	
令和5年度 (2023年度)	79,748	10,249	75,294	58,101	39,098	171,690	29,866
令和6年度 (2024年度)	83,345	9,194	74,445	56,344	38,159	142,097	46,959

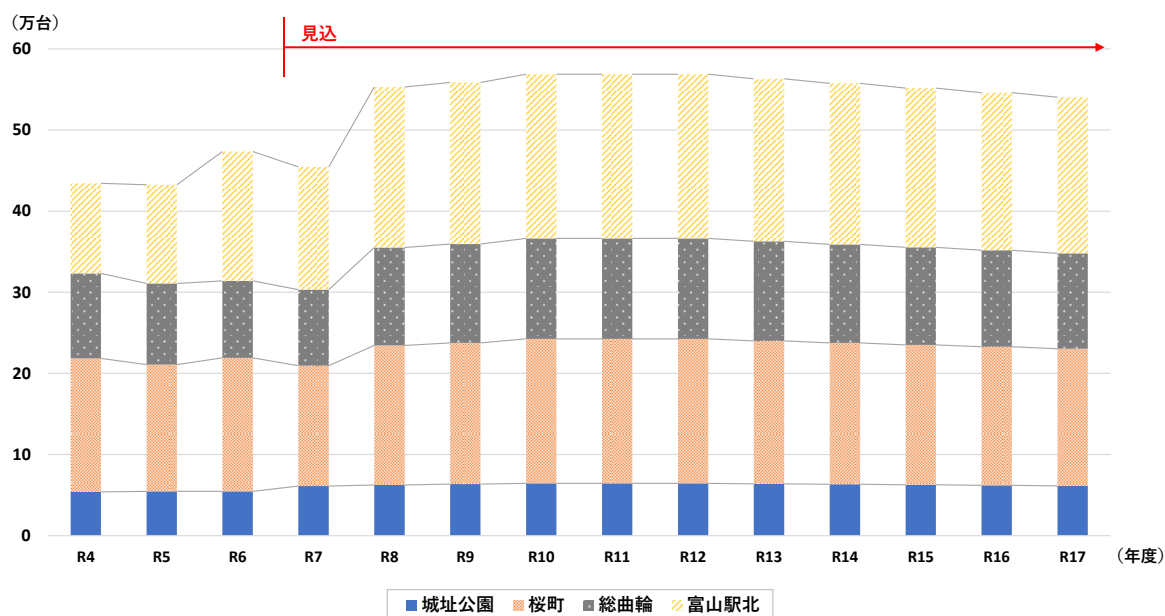
## 5 将来の事業環境

### (1) 駐車場需要の見通し

令和5年5月に新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行し、令和6年度の利用台数は増加に転じたこと、また、令和8年度から、桜町、総曲輪及び富山駅北の3駐車場において利用料金制を導入し、指定管理者による主体的な創意工夫による利便性の向上及び地域の需要に応じた料金設定等によるサービスの向上を図ることから、令和8年度から12年度まで、利用台数は増加の後、横ばいで推移すると見込まれる。

令和13年度からは、利用料金制導入による効果の維持に努めるものの、自動車の利用が多いと思われる生産年齢人口は今後も減少が続くと推測されていることから、利用台数は徐々に減少に向かうものと見込まれる。

### ■ 利用台数の見通し

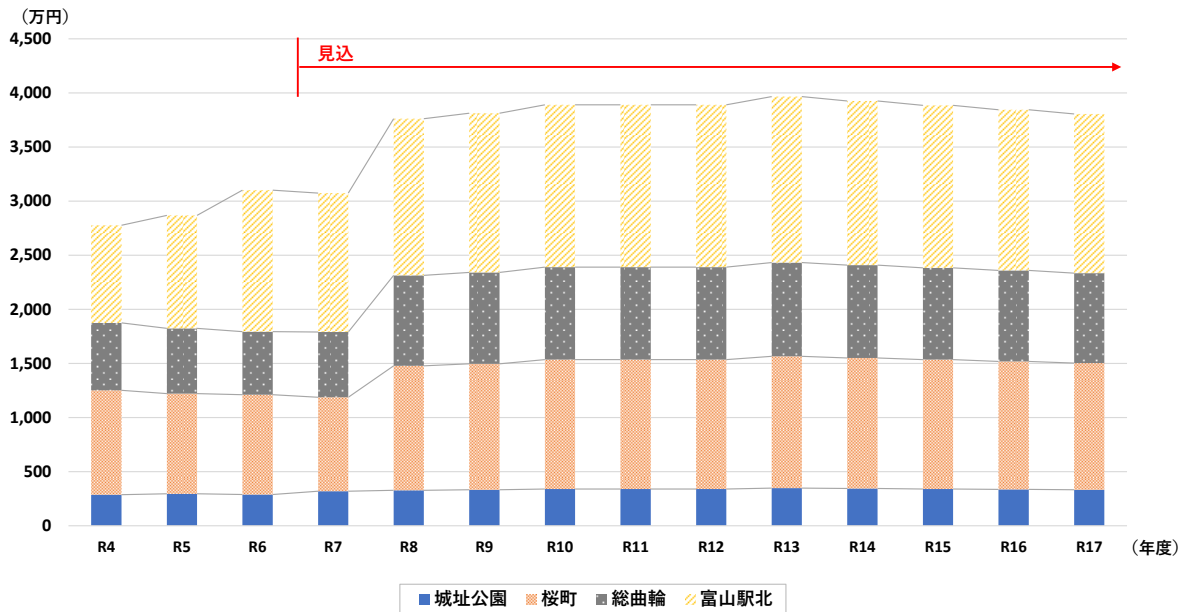


## (2) 料金収入の見通し

新型コロナウイルス感染拡大により落ち込んだ料金収入が徐々に回復してきたこと、また、令和8年度から、桜町、総曲輪及び富山駅北の3駐車場への利用料金制の導入により、指定管理者による主体的な創意工夫による利便性の向上及び地域の需要に応じた料金設定等によるサービスの向上を図ることから、令和8年度から13年度までは、料金収入は増加の後、横ばいで推移すると見込まれる。

令和14年度からは、利用料金制導入による効果の維持に努めるものの、自動車の利用が多いと思われる生産年齢人口は今後も減少が続くと推測されていることから、料金収入は徐々に減少に向かうものと見込まれる。

### ■料金収入の見通し



### (3) 施設の見通し

機器設備の更新計画は、駐車場管制設備や防犯カメラシステム等の更新に係る費用を、建築躯体及び建築設備の更新計画では、建築躯体や建築設備に係るメンテナンス費、照明等の設備更新に係る費用を見込む。

どの駐車場も建設から相当の年数が経過し、老朽化が進行していることから、計画的な修繕や更新工事等を行い、長寿命化を図る。

#### ■ 機器設備の更新計画

(千円)

駐 車 場	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度	令和14年度	令和15年度	令和16年度	令和17年度
	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度	2032年度	2033年度	2034年度	2035年度
城址公園	0	8,965	6,380	11,169	0	3,773	4,286	7,700	0	8,965
桜 町	0	2,745	5,870	0	0	0	0	4,136	4,950	8,614
総 曲 輪	0	2,715	12,123	457	0	0	0	4,675	7,095	581
富山駅北	7,000	15,444	0	0	2,668	0	0	3,901	2,913	15,444
合 計	7,000	29,869	24,373	11,626	2,668	3,773	4,286	20,412	14,958	33,604

#### ■ 建築躯体及び建築設備の更新計画

(千円)

駐 車 場	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度	令和14年度	令和15年度	令和16年度	令和17年度
	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度	2032年度	2033年度	2034年度	2035年度
城址公園	7,417	98,446	20,470	1,989	1,498	1,989	3,201	9,737	1,498	5,938
桜 町	1,716	6,404	18,988	37,131	2,656	2,042	10,351	79,277	8,717	32,822
総 曲 輪	6,457	8,932	15,860	8,733	31,392	6,809	10,650	4,358	48,620	10,283
富山駅北	2,380	7,812	22,486	17,625	1,498	6,074	2,248	5,584	20,428	33,966
合 計	17,970	121,594	77,804	65,478	37,044	16,914	26,450	98,956	79,263	83,009

#### (4) 組織の見直し

4つの駐車場全てに指定管理者制度を導入し、うち、桜町、総曲輪及び富山駅北の3駐車場においては、令和8年度から利用料金制を導入した新たな指定管理を実施するなど、事務の効率化を図っている。

## 6 経営の基本方針

都市における自動車の駐車のための施設を整備し、道路交通の円滑化を図り、公衆の利便に資するとともに、都市の機能の維持及び増進に寄与することを目的とする。

駐車場の管理運営は、民間事業者のノウハウや創意工夫を活かし、最少の経費で最大の効果を発揮する経営を目指すほか、利用者の意見や要望を的確に把握し、管理運営に反映することにより、利用者の利便性及び満足度の向上を図る。

なお、駐車場の管理運営は、下記の基本的な考え方のもと、指定管理者が行う。

#### ○基本的な考え方

- ・ 安全管理に留意し、24時間の管理運営を行う。
- ・ 効率的に管理運営し、最少の経費で最大の効果を上げるよう努める。
- ・ 主体的な創意工夫により、利便性の向上に努める。
- ・ 利用者の意見や要望等を管理運営に反映し、サービスの向上を図る等、利用者に配慮した管理運営を行う。
- ・ 安定した管理運営に努める。

7 投資・財政計画（収支計画）

(1) 投資・財政計画（収支計画）

駐車場事業全体【城址公園、桜町、総曲輪、桜町、駅北】

(単位：千円、%)

区分	年度												
	令和5年度 (決算)	令和6年度 (決算)	令和7年度 (決算) (見込)	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度	令和14年度	令和15年度	令和16年度	令和17年度
1 総収益(A)	287,031	312,548	319,736	276,780	280,876	288,853	287,229	287,609	293,480	290,959	288,445	285,931	283,423
(1) 営業収益(B)	286,819	310,191	307,451	273,204	276,910	282,515	282,515	282,515	288,004	285,095	282,187	279,277	276,369
ア 料収金(C)	286,819	310,191	307,451	32,700	33,275	33,843	33,843	33,843	34,680	34,329	33,980	33,629	33,279
イ 受託工事収益(D)													
ウ その他				240,504	243,635	248,672	248,672	248,672	253,324	250,766	248,207	245,648	243,090
(2) 営業外収益(E)	212	2,357	12,285	3,576	3,966	4,338	4,714	5,094	5,476	5,864	6,258	6,654	7,054
ア 他会計繰入金	212	2,357	12,285	3,576	3,966	4,338	4,714	5,094	5,476	5,864	6,258	6,654	7,054
イ その他													
2 総費用(D)	194,425	216,659	215,694	108,297	238,390	179,283	160,948	127,248	109,117	117,717	194,041	176,075	193,992
(1) 営業費用	184,117	203,526	202,811	92,059	216,552	167,266	142,193	104,801	85,776	95,825	184,457	159,310	181,702
ア 職員給与	9,002	9,204	10,678	10,928	10,928	10,928	10,928	10,928	10,928	10,928	10,928	10,928	10,928
イ 退職手当													
イ その他	175,115	194,322	192,133	81,131	205,624	156,338	131,265	93,873	74,848	84,897	173,529	148,382	170,774
(2) 営業外費用	10,308	13,133	12,823	16,238	21,838	12,017	18,755	22,447	23,341	21,892	9,584	16,765	12,290
ア 支払利息													
イ その他	10,308	13,133	12,823	16,238	21,838	12,017	18,755	22,447	23,341	21,892	9,584	16,765	12,290
3 収支差引(A)-(D)(E)	92,606	95,889	104,102	168,483	42,486	107,570	126,281	160,361	184,363	173,242	94,404	109,856	89,431
1 資本的収入(F)													
(1) 地方債													
(2) うち資本費平準化債													
(3) 他会計補助金													
(4) 他会計借入金													
(5) 固定資産売却代金													
(6) 国(都道府県)補助金													
(7) 工事負担金													
(8) その他													
2 資本的支出(G)	79,874	88,201	122,209	137,084	8,720	73,433	91,768	125,468	149,087	137,578	58,347	73,403	52,577
(1) 建設改良費													
(2) うち職員給与													
(3) 地方債還金(H)													
(4) 他会計長期借入金返還金													
(5) 他会計への繰出金	79,874	88,201	122,209	137,084	8,720	73,433	91,768	125,468	149,087	137,578	58,347	73,403	52,577
(6) その他													
3 収支差引(F)-(G) ①	△ 79,874	△ 88,201	△ 122,209	△ 137,084	△ 8,720	△ 73,433	△ 91,768	△ 125,468	△ 149,087	△ 137,578	△ 58,347	△ 73,403	△ 52,577

駐車場事業全体【城址公園、桜町、総曲輪、桜町、駅北】

(単位:千円, %)

区分	年度	令和5年度 (決算)	令和6年度 (決算)	令和7年度 (決算) 【見込】	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度	令和14年度	令和15年度	令和16年度	令和17年度
収支再差引	(E)+(I)	12,732	7,688	△ 18,107	31,399	33,766	34,137	34,513	34,893	35,276	35,664	36,057	36,453	36,854
積立金	(K)	38	288	1,987	31,399	33,766	34,137	34,513	34,893	35,276	35,664	36,057	36,453	36,854
前年度からの繰越金	(L)		12,694	20,094										
前年度繰上充用金	(M)													
形式収支	(J)-(K)+(L)-(M)	12,694	20,094											
翌年度へ繰り越すべき財源	(O)	12,694	20,094											
実質収支	(P)													
(N)-(O)	(Q)													
赤字比率	$\frac{(Q)}{(B)-(C)} \times 100$													
収益的収支比率	$\frac{(A)}{(D)+(H)} \times 100$	148	144	148	256	118	160	178	226	269	247	149	162	146
地方財政法施行令第16条第1項により算定した資金不足額	(R)													
営業収益 - 受託工事収益	(B)-(C)	286,819	310,191	307,451	273,204	276,910	282,515	282,515	282,515	288,004	285,095	282,187	279,277	276,369
地方財政法による資金不足額	((R)/(S) × 100)													
健全化法施行令第16条により算定した資金不足額	(T)													
健全化法施行規則第6条に規定する解消可能資金不足額	(U)													
健全化法施行令第17条により算定した事業の規	(V)													
健全化法第22条により算定した資金不足比率	((T)/(V) × 100)													
他会計借入金残高	(W)													
地方債残高	(X)													

○他会計繰入金

(単位:千円)

区分	年度	令和5年度 (決算)	令和6年度 (決算)	令和7年度 (決算) 【見込】	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度	令和14年度	令和15年度	令和16年度	令和17年度
収益的収支分														
うち基準内繰入金														
うち基準外繰入金														
資本的収支分														
うち基準内繰入金														
うち基準外繰入金														
合計														

## (2) 投資・財政計画（収支計画）の策定に当たっての説明

### ア 収支計画のうち投資についての説明

目 標	駐車場の機器設備、建築躯体及び建築設備を、計画に基づき効果的かつ計画的に更新及び改修を実施する。
-----	--

4つの駐車場のうち3施設の築年数が30年を超え、老朽化が進行していることから、計画に基づく建築躯体や各種設備の更新及び改修、定期的なメンテナンス等により長寿命化を図る。

この計画では、蛍光灯照明の製造が禁止となることや、光熱費の高騰等に対応するため、令和10年度までにLED照明に更新するなど、省エネ設備の導入を予定している。

なお、桜町、総曲輪及び富山駅北の3駐車場においては、利用料金制の導入に伴い、駐車場の入出庫や駐車料金の精算等に関する各種機器類は指定管理者において設置、管理することとしている。

### イ 収支計画のうち財源についての説明

目 標	建築躯体や各種設備の更新及び改修を、効果的かつ計画的に実施するため、利用料金制の導入等による営業収益の維持及び管理運営に係る営業費用の削減を目指す。
-----	--

桜町、総曲輪及び富山駅北の3駐車場については、令和7年度まで駐車料金を市の歳入とする使用料制としていたが、令和8年度からは駐車料金を指定管理者の収入とする利用料金制を導入する。なお、市は駐車場の利用料金収入から納付割合に応じて指定管理者から支払われる納付金を、駐車料金に変わる財源とする。

城址公園駐車場は、指定管理者により公園と駐車場を一体的に管理運営しており、駐車料金は使用料制として市の歳入としている。

桜町、総曲輪及び富山駅北の3駐車場の駐車料金に最大料金を導入するほか、富山駅周辺におけるオフィスや商業施設利用者の駐車場需要の高まりにより、駐車場事業全体で営業収益の増加維持を図り、管理運営に係る営業費用の削減を見込む。

なお、市営駐車場の施設整備費については既に償還を済ませており、今後も収入は支出を上回ると予測している。

(3) 収支計画のうち投資以外の経費についての説明

市営駐車場は、指定管理者による効率的な管理運営を行っている。このうち、桜町、総曲輪及び富山駅北の3施設については、令和8年度から利用料金制を導入し、駐車料金を指定管理者の収入とすることにより、指定管理者に支払う管理運営委託料を削減する。

(4) 投資・財政計画（収支計画）に未反映の取組や今後検討予定の取組の概要

ア 今後の投資についての考え方・検討状況

民間活用	<p>全ての駐車場で指定管理者制度を導入し、事務の効率化を図っており、うち、桜町、総曲輪及び富山駅北の3駐車場については、令和8年度から駐車料金を指定管理者の収入とする利用料金制を導入し、指定管理者のノウハウや創意工夫を活かし、最少の経費で最大の効果を発揮する経営を目指す。</p> <p>城址公園駐車場においては、今後の駐車場の利用状況等を注視し、利用料金制の導入等を検討する。</p>
駐車場の配置の適正化	<p>本駐車場に一定の需要があり、配置は適正と考えている。</p>
投資の平準化	<p>駐車場の機器設備、建築躯体及び建築設備を、計画に基づき効果的かつ計画的に更新及び改修を実施する。また、常に利用者の安全確保を最優先に考え、修繕や設備投資が必要な箇所の精査に努め、更新の必要性の高い設備から優先的に投資するほか、定期的に実施する点検結果に応じて、施設修繕計画を見直し、費用の適正化を図ることにより、投資の平準化に努める。</p>

イ 今後の財源についての考え方・検討状況

料 金	<p>桜町、総曲輪及び富山駅北の3駐車場については、令和8年度から駐車料金を指定管理者の収入とする利用料金制を導入し、最大料金を設定することにより、利便性及びサービスの向上を図る。また、駐車料金の設定については、駐車場の稼働状況や周辺駐車場における料金変化等をモニタリングしながら必要に応じて見直す。</p> <p>城址公園駐車場は、公園と一体的な管理運営を行っていることから、使用料制のままとしているが、今後の駐車場の利用状況等を注視し、利用料金制の導入等を検討する。</p>
-----	---

利用者増加に向けた取組	カメラによる車番認証を用いた駐車場におけるスムーズな入出庫や事前精算を可能とする機器の導入、カーシェアリング等の自主事業の実施など、指定管理者による主体的な創意工夫による利便性の向上を図る。
企業債	—
繰入金	施設整備費の償還は既に完了していること、また、事業運営に必要な経費は、城址公園駐車場の料金収入のほか、利用料金制の導入により、指定管理者から支払われる納付金が新たな収入となることに加え、指定管理者に支払う管理運営費が削減されることにより、収入が支出を上回ると見込むことから、一般会計からの繰入金は想定していない。
資産の有効活用等による収入増加の取組	行政財産の目的外使用許可による自動販売機の設置や、カーシェアリング等の自主事業を実施するなど、一定の収入確保に取り組む。

#### ウ 投資以外の経費についての考え方・検討状況

委託料	<p>桜町、総曲輪及び富山駅北の3駐車場においては、令和8年度から利用料金制を導入し、今後は、駐車場運営に必要とする入出庫や料金精算等の機器類は、指定管理者が自らの裁量で入れ替えや保守等を行い、市は躯体設備の維持管理を行うことにより、委託料の削減に努める。</p> <p>城址公園駐車場は、公園と一体的に運営することで、効率的な管理に努めてきたところであるが、さらなる削減を目指し、将来的な利用料金制導入の検討を進める。</p>
管理運営費	<p>桜町、総曲輪及び富山駅北の3駐車場においては、令和8年度から利用料金制を導入し、駐車料金を指定管理者の収入とすることから、管理運営に係る委託料は発生しない。</p> <p>城址公園駐車場は、使用料制による管理運営を指定管理者に委託していることから、運営経費を検証し、適正な指定管理料の算定に努めるほか、将来的な利用料金制導入の検討を進める。</p>
職員給与費	指定管理者制度の活用等により、職員給与額を抑制する。

## 8 公営企業として実施する必要性など

<p>事業の意義、 提供するサービス 自体の必要性</p>	<p>(1) 城址公園駐車場 城址公園及び富山市郷土博物館等と一体となった駐車場で、オフィス街の中心部に位置しており定期的な利用者が多いこと、また、公園やその周辺で行われる季節ごとの催しが行われる際に多く利用されていることから、本駐車場は必要である。</p> <p>(2) 桜町駐車場 C i Cビルと上空で接続し一体的な運用を図っており、建設当初から隣接するC i Cビルの付帯駐車場として位置付けられている。また、C i Cビルには「とやま市民交流館」、「とやまこどもプラザ」、「とやま駅南図書館「ぶらり」」をはじめとする市施設のほか、他の公共施設も多く入居しており、施設を利用する市民の利便性を図るためにも、本駐車場は必要である。</p> <p>(3) 総曲輪駐車場 中心商店街の外周部で幹線道路側に位置しており、中心商店街の中への車の流入や渋滞を防ぐ駐車場としての役割を担っている。また、中心商店街利用者だけではなく、オフィス街に面していることから通勤需要にも対応するためにも、本駐車場は必要である。</p> <p>(4) 富山駅北駐車場 建設当初からオーバード・ホールの付帯駐車場として利用されており、令和5年度には中ホールが開業するなど、より重要な位置付けとなっている。また、北陸新幹線の開通や富山駅の高架化による路面電車の南北接続など、富山駅周辺の整備が進められたこともあり、公共交通利用者や近隣オフィスの通勤需要にも対応する必要があることから、本駐車場は必要である。</p>
<p>公営企業として 実施する必要性</p>	<p>富山駅周辺や中心商店街に隣接する位置にあることから、中心市街地の活性化のためにもまちづくりに資する交通基盤施設として、継続して市による運営を行っていくことが望ましい。なお、桜町駐車場においては、富山駅前桜町地区再開発として整備された経緯から、民間と市の区分所有となっており、権利関係も複雑となっていることから、継続して市による運営を行っていくことが望ましい。</p>

## 9 経営戦略の事後検証、改定等に関する事項

<p>経営戦略の事後 検証、改定等に 関する事項</p>	<p>年度ごとに事業の状況を評価し、駐車場周辺のまちづくりや周辺環境を踏まえ、指定管理期間の満了に伴う新たな指定管理者の公募等のタイミングを捉えながら、必要に応じて計画の見直しを行う必要がある。</p>
--------------------------------------	---

## 10 各駐車場の経営戦略

### (1) 富山市宮城址公園駐車場

#### ア 事業概要

##### (ア) 事業形態等

法適（全部適用・一部適用）非適の区分	法非適用	事業開始年月日	昭和46年5月1日
職員数	10人	施設名	城址公園駐車場
種類	届出駐車場	構造	地下式
立地	その他	建設後（建替後）の経過年数	54年
駐車場使用面積	4,194.26 m <sup>2</sup>	収容台数	普通自動車98台
営業時間	0時～24時		
民間活用の状況	指定管理者制度	指定管理者に管理運営を委託	

##### (イ) 料金形態

営業時間 車種・区分	0時～24時	
普通駐車	<b>【普通自動車等】</b> 基本料金：330円（入場から1時間まで） 加算料金：①8時～23時 110円（1時間を超え30分までごと） ②23時～翌日8時 110円（1時間を超え1時間までごと）	
回数駐車券 （11枚つづり）	330円券：3,300円 110円券：1,100円	
定期駐車券 （1月につき1台）	全日券：16,500円（0時から24時まで） 昼間券：13,200円（8時から19時まで 日曜及び休日を除く） 夜間券：9,900円（18時から翌日8時30分まで）	
パーキングカード （1枚）	3,300円相当券：3,000円 5,500円相当券：5,000円	
料金形態の考え方	富山市駐車場条例により定める	
料金改定年月日	平成10年7月1日	

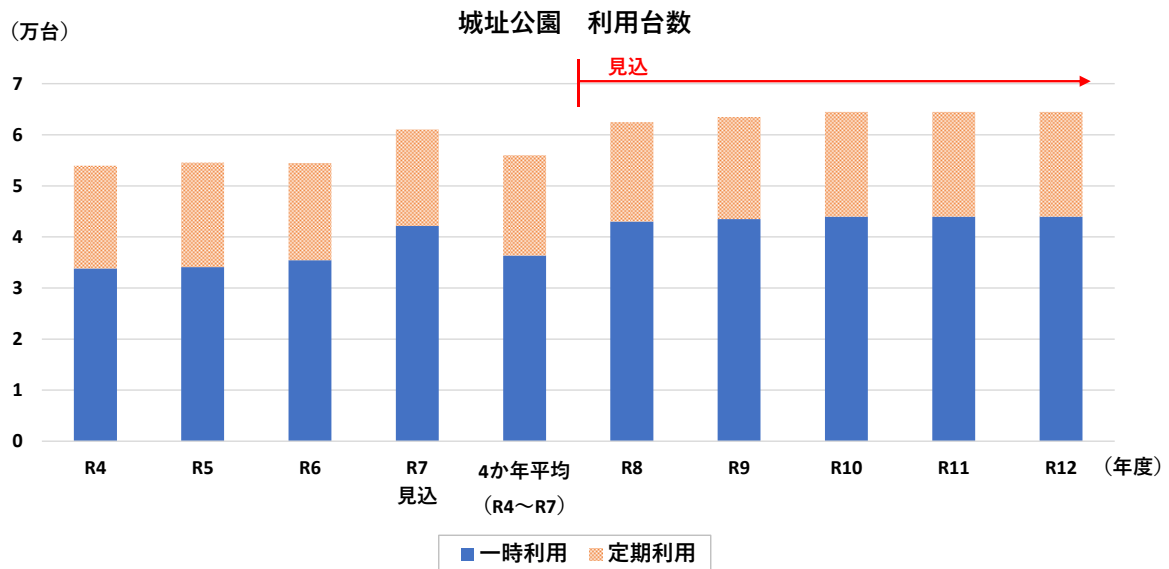


## ウ 将来の事業環境

### (ア) 駐車場需要の見通し

一時利用の台数は、新型コロナウイルス感染症の影響により落ち込んだ後、徐々に回復してきたこと、また、令和6年1月に発生した能登半島地震による被害の復旧も進められたことにより、公園を活用したイベント等も増えてくるなど、今後も一定の需要が見込まれることから、利用台数は、微増が続いた後、横ばいで推移すると見込まれる。

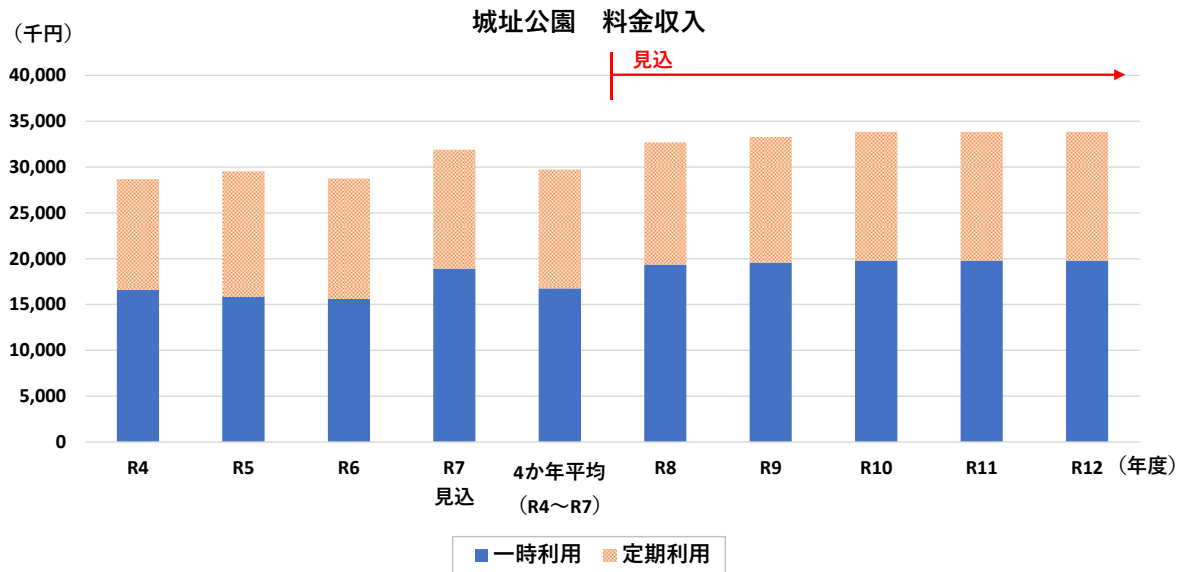
定期利用の台数は、一時利用と同様に落ち込んだ後、増減を繰り返し、あまり変化は見られないものの、この駐車場はオフィス街の中心部に位置しており、通勤需要も高いことから、利用台数は、微増が続いた後、横ばいで推移すると見込まれる。



### (イ) 料金収入の見通し

新型コロナウイルス感染症の影響により落ち込んだ後、増減を繰り返しており、令和7年度は令和6年度に比べ増加する見込みである。

令和8年度以降については、利用台数の見通しにより、料金収入は、微増が続いた後、横ばいで推移すると見込まれる。



### (ウ) 施設の見通し

供用開始から50年以上経過し、機器設備、建築躯体及び建築設備等の老朽化が進行していることから、計画的な更新及び修繕を実施する必要がある。

機器設備については、令和10年度までに防犯カメラ等の更新を、建築躯体及び建築設備については、令和8年度に照明器具をLED照明に更新する予定としており、以降も、計画的な更新を実施していく。

工 投資・財政計画 (収支計画)

城址公園

(単位:千円, %)

区分	年度	年度												
		令和5年度 (決算)	令和6年度 (決算)	令和7年度 (決算) (見込)	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度	令和14年度	令和15年度	令和16年度	令和17年度
収益的収入	1 総収入	29,589	28,887	32,147	33,612	34,287	34,948	35,042	35,137	36,069	35,815	35,565	35,313	35,063
	(1) 営業収入	29,529	28,765	31,588	32,700	33,275	33,843	33,843	33,843	34,680	34,329	33,980	33,629	33,279
	ア 料金収入	29,529	28,765	31,588	32,700	33,275	33,843	33,843	33,843	34,680	34,329	33,980	33,629	33,279
	イ 受託工事収入													
	ウ その他収入													
	(2) 営業外収入	60	122	559	912	1,012	1,105	1,199	1,294	1,389	1,486	1,585	1,684	1,784
	ア 他会計繰入金													
	イ その他収入	60	122	559	912	1,012	1,105	1,199	1,294	1,389	1,486	1,585	1,684	1,784
	2 総費用	43,806	42,067	42,354	43,584	44,479	61,462	49,455	38,718	43,205	44,568	51,441	37,297	49,584
	(1) 営業費用	41,229	38,784	39,149	39,525	139,019	58,458	44,766	33,106	37,370	39,095	49,045	33,106	46,511
ア 職員給与	2,250	2,301	2,669	2,732	2,732	2,732	2,732	2,732	2,732	2,732	2,732	2,732	2,732	
イ その他費用	38,979	36,483	36,480	36,793	136,287	55,726	42,034	30,374	34,638	36,363	46,313	30,374	43,779	
(2) 営業外費用	2,577	3,283	3,205	4,059	5,460	3,004	4,689	5,612	5,835	5,473	2,396	4,191	3,073	
ア 支払利息														
イ その他一時借入金利息	2,577	3,283	3,205	4,059	5,460	3,004	4,689	5,612	5,835	5,473	2,396	4,191	3,073	
3 収支差引 (A)-(D) (E)	△ 14,217	△ 13,180	△ 10,207	△ 9,972	△ 110,192	△ 26,514	△ 14,413	△ 3,581	△ 7,136	△ 8,753	△ 15,876	△ 1,984	△ 14,521	
資本的収入	1 資本的収入													
	(1) 地方債													
	(2) 資本費平準化債													
	(3) 他会計補助金													
	(4) 他会計借入金													
	(5) 国(都道府県)補助金													
	(6) 工事負担金													
	(7) その他													
	2 資本的支出	△ 14,226	△ 18,275	△ 5,680	△ 17,821	△ 118,633	△ 35,049	△ 23,041	△ 12,304	△ 15,955	△ 17,669	△ 24,890	△ 11,098	△ 23,794
	(1) 建設改良費													
(2) 地方債償還金														
(3) 他会計長期借入金返還金														
(4) 他会計への繰出金	△ 14,226	△ 18,275	△ 5,680	△ 17,821	△ 118,633	△ 35,049	△ 23,041	△ 12,304	△ 15,955	△ 17,669	△ 24,890	△ 11,098	△ 23,794	
(5) その他														
3 収支差引 (F)-(G) (I)	14,226	18,275	5,680	17,821	118,633	35,049	23,041	12,304	15,955	17,669	24,890	11,098	23,794	

城址公園

(単位:千円, %)

区分	年度												
	令和5年度 (決算)	令和6年度 (決算)	令和7年度 (決算) 〔見込〕	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度	令和14年度	令和15年度	令和16年度	令和17年度
収支再差引	9	5,095	△ 4,527	7,849	8,442	8,534	8,628	8,723	8,819	8,916	9,014	9,113	9,214
積立金	9	72	496	7,849	8,442	8,534	8,628	8,723	8,819	8,916	9,014	9,113	9,214
前年度からの繰越金			5,023										
前年度繰上充用金													
形式収支		5,023											
翌年度へ繰り越すべき財源		5,023											
実質収支													
(N)-(O)													
赤字比率													
		$\frac{(O)}{(B)-(C)} \times 100$											
収益的収支比率	68	69	76	77	24	57	71	91	83	80	69	95	71
地方財政法施行令第16条第1項により算定した 資金の不足額													
営業収益一受託工事収益	29,529	28,765	31,588	32,700	33,275	33,843	33,843	33,843	34,680	34,329	33,980	33,629	33,279
地方財政法による 資金の不足額													
健全化法施行令第16条により算定した 資金の不足額													
健全化法施行規則第6条に規定する 解消可能資金不足額													
健全化法施行令第17条により算定した 事業の規模													
健全化法第22条により算定した 資金不足比率													
他会計借入金残高													
地方債残高													
○他会計繰入金													
年度	令和5年度 (決算)	令和6年度 (決算)	令和7年度 (決算) 〔見込〕	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度	令和14年度	令和15年度	令和16年度	令和17年度
区分													
収益的収支分													
うち基準内繰入金													
うち基準外繰入金													
資本的収支分													
うち基準内繰入金													
うち基準外繰入金													
合計													

## (2) 富山市営桜町駐車場

## ア 事業概要

## (ア) 事業形態等

法適（全部適用・一部適用）非適の区分	法非適用	事業開始年月日	平成元年5月10日
職員数	5人	施設名	桜町駐車場
種類	届出駐車場	構造	立体式
立地	駅	建設後（建替後）の経過年数	36年
駐車場使用面積	7,144.67 m <sup>2</sup>	収容台数	普通自動車 286台
営業時間	0時～24時		
民間活用の状況	指定管理者制度	指定管理者に管理運営を委託	

## (イ) 料金形態

営業時間 車種・区分	0時～24時
普通駐車	【普通自動車等】 基本料金：330円（入場から1時間まで） 加算料金：①8時～23時 110円（1時間を超え30分までごと） ②23時～翌日8時 110円（1時間を超え1時間までごと）
回数駐車券 （11枚つづり）	330円券：3,300円 110円券：1,100円
定期駐車券 （1月につき1台）	全日券：16,500円（0時から24時まで） 昼間券：13,200円（8時から19時まで 日曜及び休日を除く） 夜間券：9,900円（18時から翌日8時30分まで）
パーキングカード （1枚）	3,300円相当券：3,000円 5,500円相当券：5,000円
料金形態の考え方	富山市駐車場条例により定める
料金改定年月日	平成10年7月1日

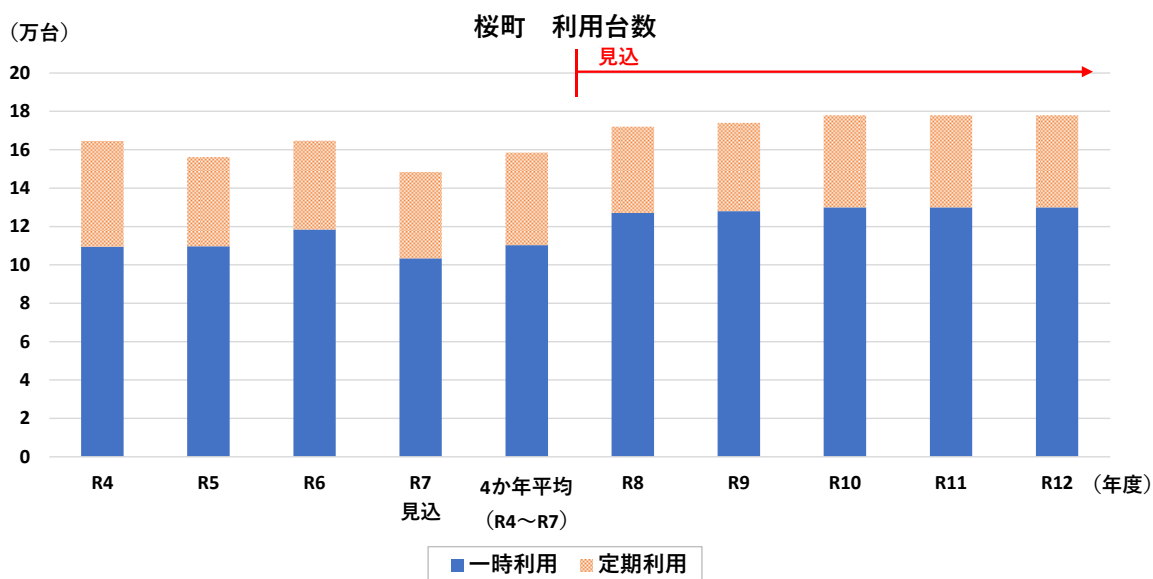


## ウ 将来の事業環境

### (ア) 駐車場需要の見通し

一時利用の台数は、新型コロナウイルス感染症の影響により落ち込んだ後、徐々に回復してきたものの、令和7年度は減少すると見込んでいる。令和8年度からは、駐車料金に最大料金を設定することで利便性を高め、C i Cビルや周辺飲食店訪問者のほか、観光やビジネス等による県外からの訪問者からの新たな需要の喚起を図ることから、利用台数は増加した後、横ばいで推移すると見込まれる。

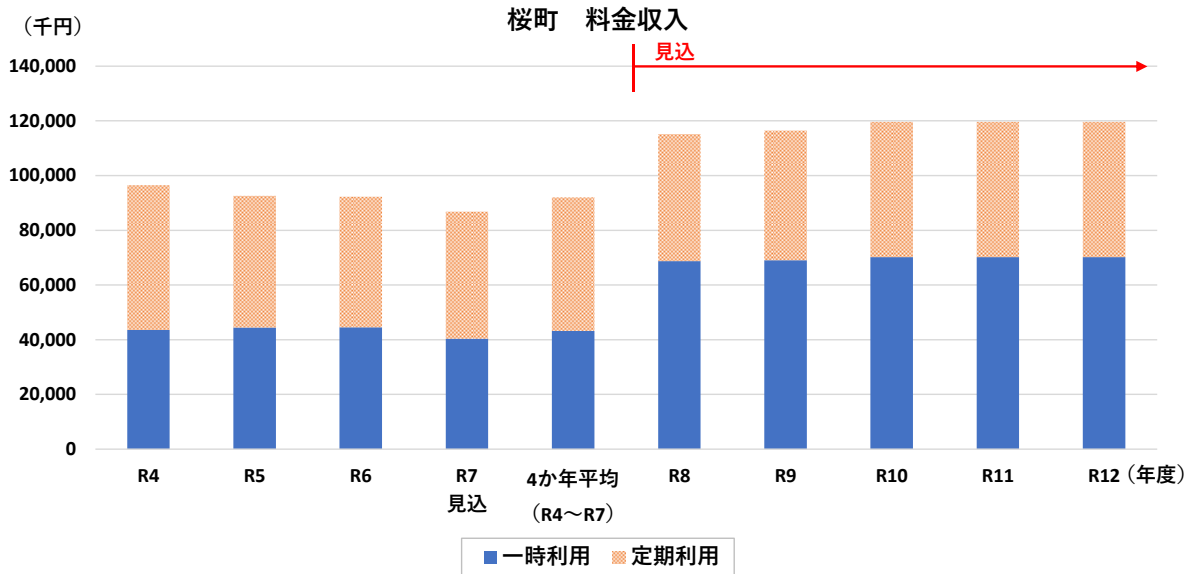
定期利用の台数は、一時利用と同様に落ち込んだ後、増減を繰り返し、令和7年度は減少すると見込んでいる。令和8年度からは、最大料金を設定することにより一時利用の台数が増えるの見込む反面、定期利用の台数は、ほぼ横ばいで推移すると見込まれる。



### (イ) 料金収入の見通し

新型コロナウイルス感染症の影響により落ち込んだ後も減少傾向にあり、令和7年度も減少する見込みである。

令和8年度以降については、利用台数の見通しにより、大きく増加した後、ほぼ横ばいで推移すると見込まれる。



### (ウ) 施設の見通し

供用開始から35年以上経過し、機器設備、建築躯体及び建築設備等の老朽化が進行していることから、計画的な更新及び修繕を実施する必要がある。

機器設備については、令和10年度までに防犯カメラ等の更新を、建築躯体及び建築設備については、令和10年度までに照明器具をLED照明に更新する予定としており、以降も、計画的な更新を実施していく。

工 投資・財政計画 (収支計画)

桜町

(単位:千円, %)

区分	年度												
	令和5年度 (決算)	令和6年度 (決算)	令和7年度 (決算) 〔見込〕	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度	令和14年度	令和15年度	令和16年度	令和17年度
1 総 収 入	92,591	94,225	97,376	81,435	82,465	84,795	84,889	84,984	86,710	85,944	85,180	84,416	83,654
(1) 営 業 収 入	92,570	92,238	86,748	80,574	81,511	83,748	83,748	83,748	85,378	84,515	83,653	82,790	81,928
ア 料 金 収 入	92,570	92,238	86,748										
イ 受 託 工 事 収 入 (C)													
ウ そ の 他													
(2) 営 業 外 収 入	21	1,987	10,628	80,574	81,511	83,748	83,748	83,748	85,378	84,515	83,653	82,790	81,928
ア 他 会 計 繰 入 金				861	954	1,047	1,141	1,236	1,332	1,429	1,527	1,626	1,726
イ そ の 他	21	1,987	10,628	861	954	1,047	1,141	1,236	1,332	1,429	1,527	1,626	1,726
2 総 費 用 (D)	55,925	72,692	69,736	26,573	34,907	48,160	62,118	28,566	28,175	36,122	106,107	38,156	64,807
(1) 営 業 費 用	53,948	69,409	66,531	22,514	29,447	45,156	57,429	22,954	22,340	30,649	103,711	33,965	61,734
ア 職 員 給 与 費	2,250	2,301	2,669	2,732	2,732	2,732	2,732	2,732	2,732	2,732	2,732	2,732	2,732
イ ち 退 職 手 当													
イ そ の 他	51,098	67,108	63,862	19,782	26,715	42,424	54,697	20,222	19,608	27,917	100,979	31,233	59,002
(2) 営 業 外 費 用	2,577	3,283	3,205	4,059	5,460	3,004	4,689	5,612	5,835	5,473	2,396	4,191	3,073
ア 支 払 利 息													
イ ち 一 時 借 入 金 利 息													
イ そ の 他	2,577	3,283	3,205	4,059	5,460	3,004	4,689	5,612	5,835	5,473	2,396	4,191	3,073
3 収 支 差 引 (A)-(D) (E)	36,666	21,533	27,640	54,862	47,559	36,635	22,771	56,418	58,535	49,822	△ 20,927	46,260	18,848
1 資 本 的 収 入 (F)													
(1) 地 方 債 償 還 金													
イ ち 資 本 費 平 準 化 債 償 還 金													
(2) 他 会 計 補 助 金													
(3) 他 会 計 借 入 金													
(4) 固 定 資 産 売 却 代 金													
(5) 国 ( 都 道 府 県 ) 補 助 金													
(6) 工 事 負 担 金													
(7) そ の 他													
2 資 本 的 支 出 (G)	23,963	29,132	32,167	47,013	39,117	28,101	14,143	47,695	49,716	40,906	△ 29,941	37,147	9,634
(1) 建 設 費													
イ ち 職 員 給 与 費													
(2) 地 方 債 償 還 金 (H)													
(3) 他 会 計 長 期 借 入 金 返 還 金													
(4) 他 会 計 へ の 繰 出 金	23,963	29,132	32,167	47,013	39,117	28,101	14,143	47,695	49,716	40,906	△ 29,941	37,147	9,634
(5) そ の 他													
3 収 支 差 引 (F)-(G) (I)	△ 23,963	△ 29,132	△ 32,167	△ 47,013	△ 39,117	△ 28,101	△ 14,143	△ 47,695	△ 49,716	△ 40,906	29,941	△ 37,147	△ 9,634

桜町

(単位:千円, %)

区分	年度	令和5年度 (決算)	令和6年度 (決算)	令和7年度 (決算)	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度	令和14年度	令和15年度	令和16年度	令和17年度
収支再差引	(E)-(I)	12,703	△ 7,589	△ 4,527	7,849	8,442	8,534	8,628	8,723	8,819	8,916	9,014	9,113	9,214
積立金	(K)	9	72	496	7,849	8,442	8,534	8,628	8,723	8,819	8,916	9,014	9,113	9,214
前年度からの繰越金	(L)		12,694	5,023										
前年度繰上充用金	(M)													
形式収支	(J)-(K)+(L)-(M)	12,694	5,023											
翌年度へ繰り越すべき財源	(N)	12,694	5,023											
実質収支	(P)													
(N)-(O)	(Q)													
赤字比率	$\frac{(Q)}{(B)-(C)} \times 100$													
収益的収支比率	$\frac{(A)}{(D)+(H)} \times 100$	166	130	140	306	236	176	137	298	308	238	80	221	129
地方財政法施行令第16条第1項により算定した資金不足額	(R)													
営業収益 - 受託工事収益	(B)-(C)	92,570	92,238	86,748	80,574	81,511	83,748	83,748	83,748	85,378	84,515	83,653	82,790	81,928
地方財政法による資金不足の比率	$\frac{(R)}{(S)} \times 100$													
健全化法施行令第16条により算定した資金不足額	(T)													
健全化法施行規則第6条に規定する解消可能資金不足額	(U)													
健全化法施行令第17条により算定した事業の規模	(V)													
健全化法第22条により算定した資金不足比率	$\frac{(T)}{(V)} \times 100$													
他会計借入金残高	(W)													
地方債残高	(X)													
○他会計繰入金														
区分	年度	令和5年度 (決算)	令和6年度 (決算)	令和7年度 (決算)	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度	令和14年度	令和15年度	令和16年度	令和17年度
収益的収支分														
うち基準内繰入金														
うち基準外繰入金														
資本的収支分														
うち基準内繰入金														
うち基準外繰入金														
合計														

(3) 富山市営総曲輪駐車場

ア 事業概要

(ア) 事業形態等

法適（全部適用・一部適用）非適の区分	法非適用	事業開始年月日	平成元年4月28日
職員数	13人	施設名	総曲輪駐車場
種類	届出駐車場	構造	立体式
立地	商業施設	建設後（建替後）の経過年数	36年
駐車場使用面積	10,190.98㎡	収容台数	普通自動車400台 バス4台
営業時間	0時～24時		
民間活用の状況	指定管理者制度	指定管理者に管理運営を委託	

(イ) 料金形態

営業時間 車種・区分	0時～24時
普通駐車	<p>【普通自動車等】</p> <p>基本料金：330円（入場から1時間まで）</p> <p>加算料金：①8時～23時 110円（1時間を超え30分までごと） ②23時～翌日8時 110円（1時間を超え1時間までごと）</p> <p>【バス】</p> <p>基本料金：1,100円（入場から1時間まで）</p> <p>加算料金：①8時～23時まで 330円（1時間を超30分までごと） ②23時～翌日8時 1,650円</p>
回数駐車券 （11枚つづり）	330円券：3,300円 110円券：1,100円
定期駐車券 （1月につき1台）	全日券：16,500円（0時から24時まで） 昼間券：13,200円（8時から19時まで 日曜及び休日を除く） 夜間券：9,900円（18時から翌日8時30分まで）
パーキングカード （1枚）	3,300円相当券：3,000円 5,500円相当券：5,000円
料金形態の考え方	富山市駐車場条例により定める
料金改定年月日	平成10年7月1日



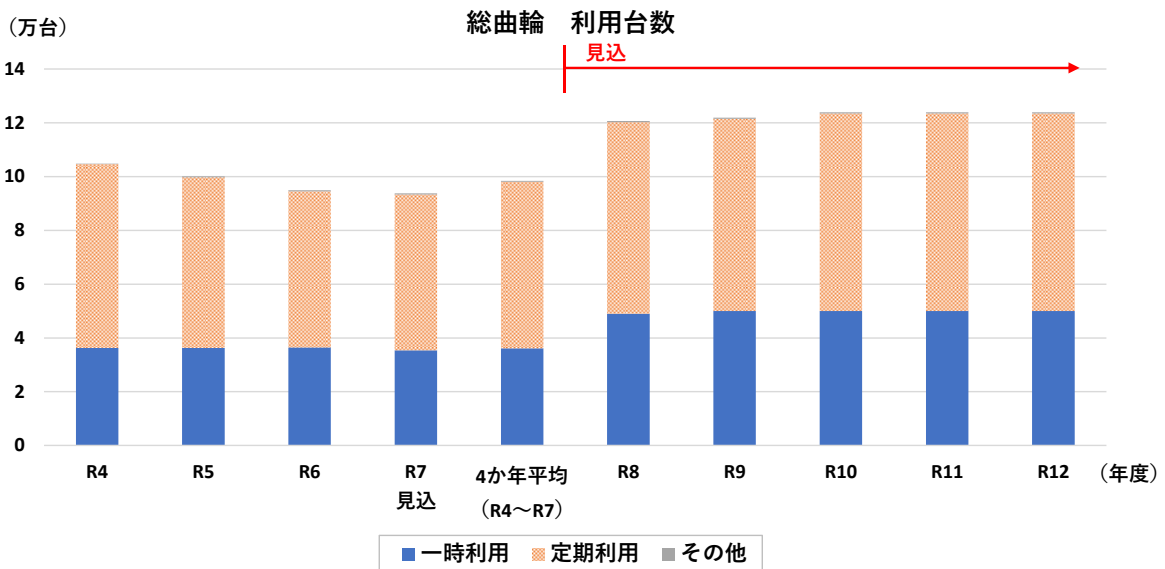
## ウ 将来の事業環境

### (ア) 駐車場需要の見通し

一時利用の台数は、新型コロナウイルス感染症の影響により落ち込んだ後、徐々に回復してきたものの、令和7年度は減少すると見込んでいる。令和8年度からは、駐車料金に最大料金を設定することで利便性を高め、中心商店街利用者の需要の喚起を図るほか、近隣で新たな再開発事業が進められるなど、駐車場需要は今後も高まることから、利用台数は増加した後、横ばいで推移すると見込まれる。

定期利用の台数は、一時利用と同様に落ち込んだ後も減少傾向にあるものの、この駐車場はオフィス街に面しており通勤需要も高いことから、利用台数は、増加した後、横ばいで推移すると見込まれる。

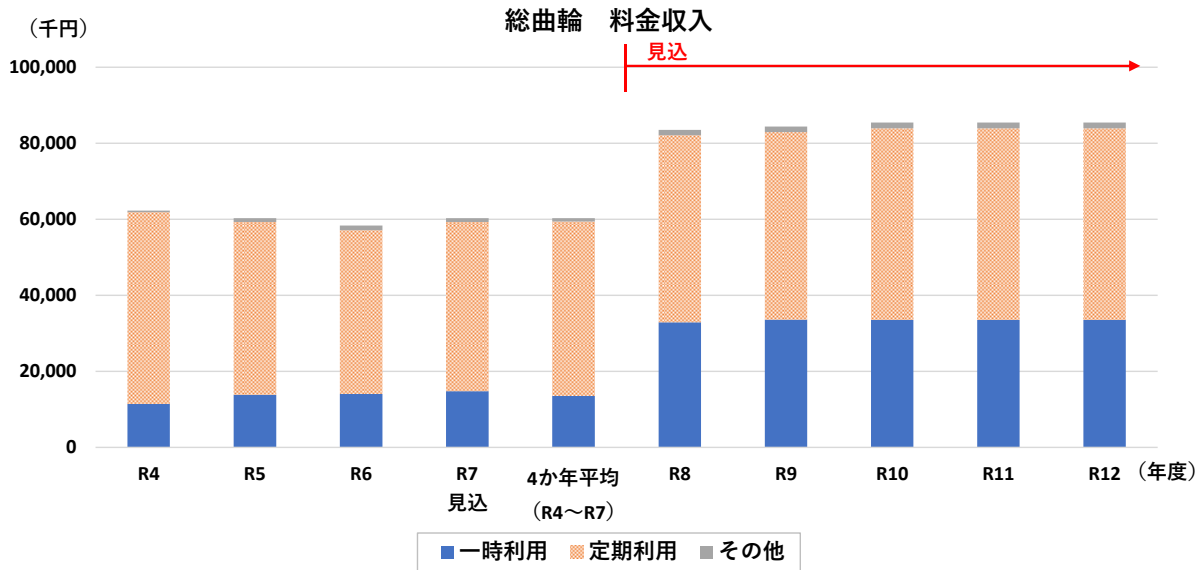
その他利用の台数は、駐車場周辺に富山城址公園や富山市ガラス美術館等の観光スポットがあることから、一定の需要は存在すると推察し、若干の増加を見込んでいる。



### (イ) 料金収入の見通し

新型コロナウイルス感染症の影響により落ち込んだ後も減少傾向にあったものの、令和7年度は増加する見込みである。

令和8年度以降については、利用台数の見通しにより、大きく増加した後、横ばいで推移すると見込まれる。



### (ウ) 施設の見通し

供用開始から35年以上経過し、機器設備、建築躯体及び建築設備等の老朽化が進行していることから、計画的な更新及び修繕を実施する必要がある。

機器設備については、令和10年度までに防犯カメラ等の更新を、建築躯体及び建築設備については、令和10年度までに電気設備の高圧ケーブル及び照明器具をLED照明に更新する予定としており、以降も、計画的な更新を実施していく。

工 投資・財政計画 (収支計画)

総 輪

(単位:千円, %)

区分	年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度	令和14年度	令和15年度	令和16年度	令和17年度	
		(決算)	(決算)	(決算) 〔見込〕	令和6年度 (決算)	令和7年度 (決算) 〔見込〕	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度	令和14年度	令和15年度	令和16年度
1 総 収 入	益(A)	60,417	58,526	61,021	59,430	60,146	60,960	61,054	61,149	62,075	61,560	61,045	60,531	60,019	
	業 益(B)	60,314	58,372	60,442	58,498	59,112	59,833	59,833	59,833	60,663	60,051	59,438	58,825	58,213	
	料 収 入	60,314	58,372	60,442											
	イ 受 託 工 事 収 入														
	ウ その他				58,498	59,112	59,833	59,833	59,833	59,833	60,663	60,051	59,438	58,825	58,213
	ア 営 業 外 収 入	103	154	579	932	1,034	1,127	1,221	1,221	1,316	1,412	1,509	1,607	1,706	1,806
	イ その他	103	154	579	932	1,034	1,127	1,221	1,221	1,316	1,412	1,509	1,607	1,706	1,806
	イ 費 用 (D)	48,635	51,041	55,069	14,020	20,111	33,991	16,883	16,883	40,008	15,648	19,127	14,433	62,910	16,941
	(1) 営 業 費 用	46,058	47,758	51,864	9,961	14,651	30,987	12,194	12,194	34,396	9,813	13,654	12,037	58,719	13,868
	ア 職 員 給 与 費	2,250	2,301	2,669	2,732	2,732	2,732	2,732	2,732	2,732	2,732	2,732	2,732	2,732	2,732
イ 退 職 手 当															
イ その他	43,808	45,457	49,195	7,229	11,919	28,255	9,462	9,462	31,664	7,081	10,922	9,305	55,987	11,136	
ア 営 業 外 費 用	2,577	3,283	3,205	4,059	5,460	3,004	4,689	4,689	5,612	5,835	5,473	2,396	4,191	3,073	
ア 支 払 利 息															
イ 一 時 借 入 金 利 息															
イ その他	2,577	3,283	3,205	4,059	5,460	3,004	4,689	4,689	5,612	5,835	5,473	2,396	4,191	3,073	
3 収 支 差 引 (A)-(D) (E)	11,782	7,485	5,952	45,410	40,036	26,969	44,171	44,171	21,141	46,427	42,433	46,612	△ 2,379	43,079	
資本 的 収 入	資 本 的 収 入 (F)														
	(1) 地 方 債 償 還 金														
	(2) 他 社 資 本 費 平 準 化 債 償 還 金														
	(3) 他 社 会 計 補 助 金														
	(4) 固 定 資 産 借 入 金														
	(5) 国 ( 都 道 府 県 ) 補 助 金														
	(6) 工 事 負 担 金														
	(7) そ の 他														
	2 資 本 的 支 出 (G)	11,773	2,390	10,479	37,561	31,594	18,435	35,543	35,543	12,418	37,608	33,517	37,598	△ 11,493	33,865
	(1) 建 設 改 良 費														
(2) 地 方 債 償 還 金 (H)															
(3) 他 社 会 計 借 入 金 返 還 金															
(4) 他 社 会 計 へ の 繰 出 金	11,773	2,390	10,479	37,561	31,594	18,435	35,543	35,543	12,418	37,608	33,517	37,598	△ 11,493	33,865	
(5) そ の 他															
3 収 支 差 引 (F)-(G) (I)	△ 11,773	△ 2,390	△ 10,479	△ 37,561	△ 31,594	△ 18,435	△ 35,543	△ 35,543	△ 12,418	△ 37,608	△ 33,517	△ 37,598	△ 11,493	△ 33,865	

総曲輪

(単位:千円, %)

区分	年度												
	令和5年度 (決算)	令和6年度 (決算)	令和7年度 (決算) (見込)	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度	令和14年度	令和15年度	令和16年度	令和17年度
収支再差引	9	5,095	△ 4,527	7,849	8,442	8,534	8,628	8,723	8,819	8,916	9,014	9,113	9,214
積立金	9	72	496	7,849	8,442	8,534	8,628	8,723	8,819	8,916	9,014	9,113	9,214
前年度繰上充用金			5,023										
形式収支		5,023											
翌年度へ繰り越すべき財源		5,023											
実質収支													
(N)-(O)													
赤字比率													
赤字比率 ( $\frac{(G)}{(B)-(C)} \times 100$ )													
収益的収支比率 ( $\frac{(A)}{(D)+(H)} \times 100$ )	124	115	111	424	299	179	362	153	397	322	423	96	354
地方財政法施行令第16条第1項により算定した資金の不足額													
営業収益 - 受託工事収益 (B)-(C) (S)	60,314	58,372	60,442	58,498	59,112	59,833	59,833	59,833	60,663	60,051	59,438	58,825	58,213
地方財政法による資金不足の比率 (R)/(S) × 100													
健全化法施行令第16条により算定した資金不足の比率 (R)/(S) × 100													
健全化法施行令第6条に規定する解消可能資金不足額													
健全化法施行令第17条により算定した規													
事													
健全化法第22条により算定した資金不足比率 ((T)/(V) × 100)													
他会計借入金残高													
地方法債													
他会計繰入金													
合計繰入金													
年度	令和5年度 (決算)	令和6年度 (決算)	令和7年度 (決算) (見込)	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度	令和14年度	令和15年度	令和16年度	令和17年度
区分													
収益的収支分													
うち基準内繰入金													
うち基準外繰入金													
資本的収支分													
うち基準内繰入金													
うち基準外繰入金													
合計													

(4) 富山市営富山駅北駐車場

ア 事業概要

(ア) 事業形態等

法適（全部適用・一部適用）非適の区分	法非適用	事業開始年月日	平成8年9月1日
職員数	5人	施設名	富山駅北駐車場
種類	届出駐車場	構造	立体式
立地	駅	建設後(建替後)の経過年数	29年
駐車場使用面積	立体 12,001.58 m <sup>2</sup> 平面 4,460.00 m <sup>2</sup>	収容台数	普通自動車 517台 バス 16台
営業時間	0時～24時		
民間活用の状況	指定管理者制度	指定管理者に管理運営を委託	

(イ) 料金形態

営業時間 車種・区分	0時～24時
普通駐車	<p>【普通自動車等】</p> <p>基本料金：330円（入場から1時間まで）</p> <p>加算料金：①8時～23時 110円（1時間を超え30分までごと） ②23時～翌日8時 110円（1時間を超え1時間までごと）</p> <p>【バス】</p> <p>基本料金：1,100円（入場から1時間まで）</p> <p>加算料金：①8時～23時まで 330円（1時間を超30分までごと） ②23時～翌日8時 1,650円</p>
回数駐車券 （11枚つづり）	330円券：3,300円 110円券：1,100円
定期駐車券 （1月につき1台）	全日券：16,500円（0時から24時まで） 昼間券：13,200円（8時から19時まで 日曜及び休日を除く） 夜間券：9,900円（18時から翌日8時30分まで）
パーキングカード （1枚）	3,300円相当券：3,000円 5,500円相当券：5,000円
料金形態の考え方	富山市駐車場条例により定める
料金改定年月日	平成10年7月1日

# Ⅰ 現在の経営状況

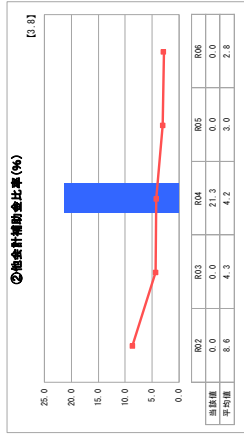
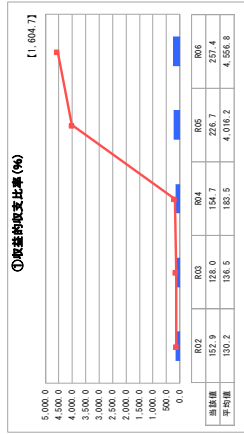
## 経営比較分析表（令和6年度決算）

富山県富山市 富山市警察北駐車場		富山市警察北駐車場	
業種名	業種名	事業名	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	A.1 B.1	非設置
自己資本比率(%)	種別	建設の標準年数(年)	建設の標準年数(年)
該当数値なし	届出駐車場	28	28
	該当数値なし	立体式	立体式

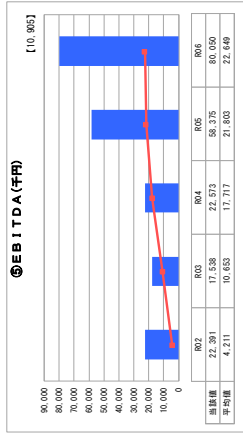
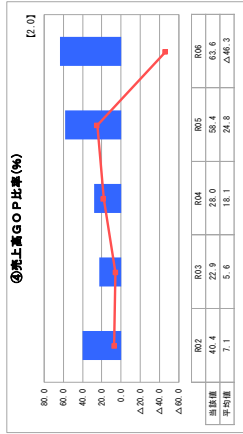
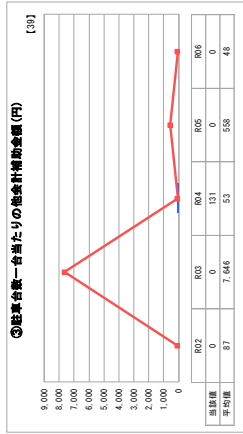
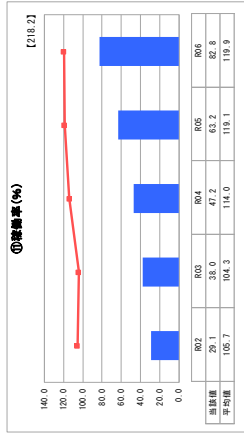
立地	周辺駐車場の供給設備数	駐車場使用面積(m <sup>2</sup> )
駅	無	17,220
収容台数(台)	一時留置たりの基本料金(円)	指定管理料金の導入
517	330	代行制

グラフ凡例	
■	当年度実績(連結値)
—	類似施設平均値(平均値)
【】	令和6年度実績平均

### 1. 収益等の状況



### 3. 利用の状況

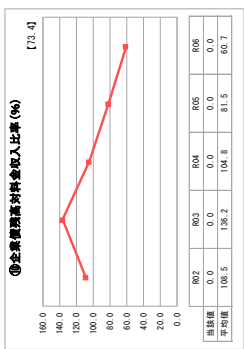
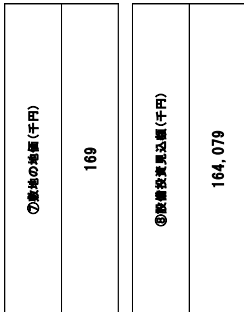


**分析値**

**1. 収益等の状況について**  
 駐車場料金収入で駐車場に係る費用が抑えられている状態であり、①収益的収支比率は257.4%、④売上高の比率は83.0%、⑤のEBITDAは22,391千円となり、いずれも前年度を上回る数値となっている。  
 今後も駐車場の経年変化に伴う設備更新や修繕に係る費用が増加することが予想されるが、計画的に設備更新を実施するなど、引き続き健全経営に努めたい。

**2. 費用等の状況について**  
 安定した駐車場運営を行うには、機器等の定期的な更新が必要である。  
 今後も、費用の負担が車年度に集中しないよう計画的に機器を更新し、施設の長寿命化に努めたい。

**3. 利用の状況について**  
 主に隣接のオーパード、ホールの駐車場として利用されることが多いほか、令和5年度中に新たにイベントホールがオープンし利用者が増えたことと、また、駅前地下に駅の南北を繋ぐ道路が開通されたこともあり、①稼働率は82.8%増加し、前年度を上回った。  
 しかしながら、オーパード、ホールが休場のため令和5年度に限り、需要が減少した影響があることから、空閑駐車場の稼働率の向上を図りたい。



**全体概況**  
 令和5年度としては黒字が維持されており、黒字額は前年度では倍の水準となった。  
 本駐車場は、主要駅に隣接し稼働率が高く、人口減少に伴う駐車場需要の減少といった影響は受けにくいものの、今後も駐車場の経年変化に伴う設備更新や修繕に係る費用が増加することが予想される。  
 令和5年度から指定管理料を導入し、効率的な人材配置や車両の保守点検に努めたい。  
 とから、指定管理料の自主的な増額を考慮し、より効果的かつ効果的なサービス提供を行うことが出来る利用料金制を導入すること、さらなるコスト削減とお客満足向上に努めたい。

### 2. 資産等の状況

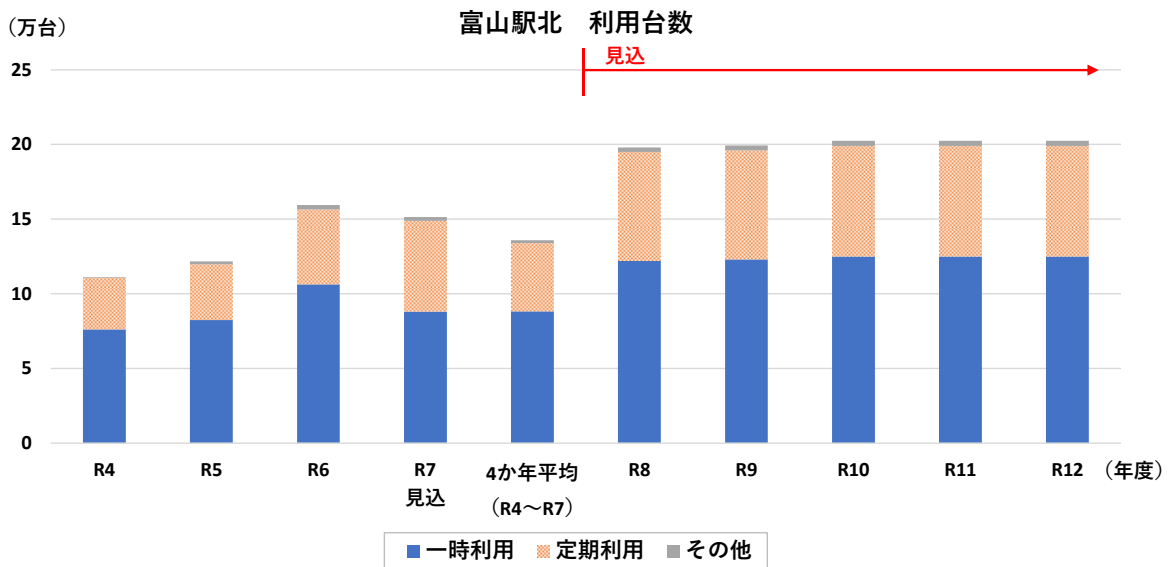
## ウ 将来の事業環境

### (ア) 駐車場需要の見通し

一時利用の台数は、新型コロナウイルス感染症の影響により落ち込んだ後、大きく回復してきたものの、令和7年度は減少すると見込んでいる。令和8年度からは、駐車料金に最大料金を設定することで利便性を高めるほか、文化施設やスポーツ施設の改修、新たなオフィスビルの建設など、富山駅周辺地区の整備が進められており、新たな需要の喚起も期待されることから、利用台数は増加した後、横ばいで推移すると見込まれる。

定期利用の台数は、一時利用と同様に落ち込んだ後に大きく回復しており、駐車場の周辺にはオフィスも多く、通勤需要も高いことから、利用台数は、増加した後、横ばいで推移すると見込まれる。

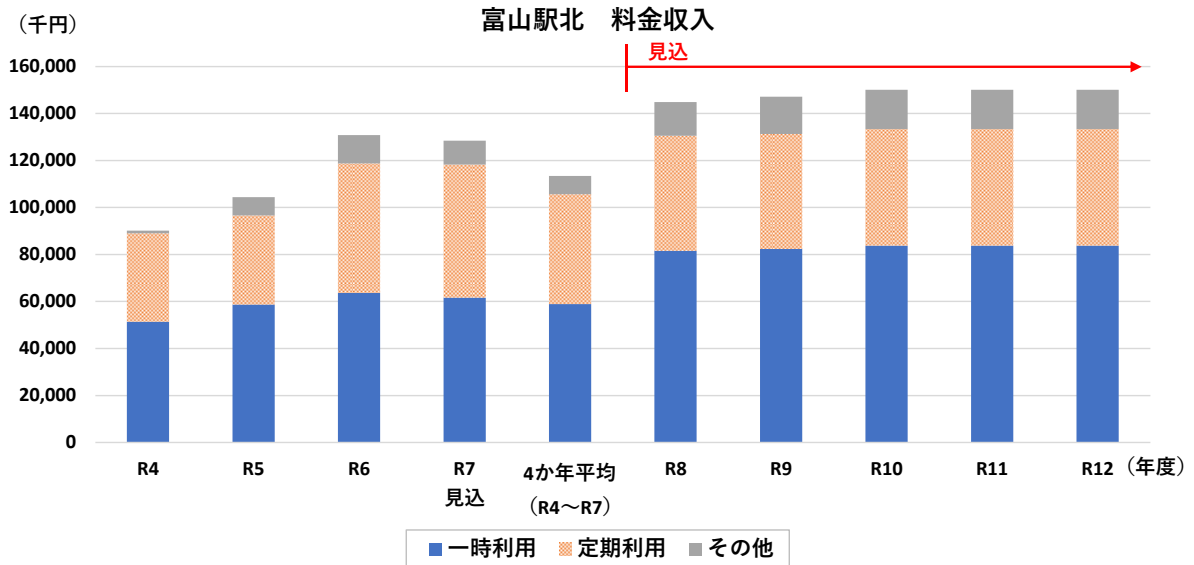
その他利用の台数は、令和4年度にバス駐車場を改修し、駐車台数を16台にまで増やした結果、大きく増加しており、今後も観光需要の高まりを受け、増加した後、横ばいで推移すると見込まれる。



### (イ) 料金収入の見通し

新型コロナウイルス感染症の影響により落ち込んだ後、大きく回復したものの、令和7年度は微減する見込みである。

令和8年度以降については、利用台数の見通しにより、大きく増加した後、横ばいで推移すると見込まれる。



### (ウ) 施設の見通し

供用開始から約30年が経過し、機器設備、建築躯体及び建築設備等の老朽化が進行していることから、計画的な更新及び修繕を実施する必要がある。

機器設備については、令和8年度に防犯カメラ等の更新を、建築躯体及び建築設備については、令和10年度までに照明器具をLED照明に更新する予定としており、以降も、計画的な更新を実施していく。

工 投資・財政計画 (収支計画)

駅北

(単位:千円, %)

区分	年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度	令和14年度	令和15年度	令和16年度	令和17年度	
		(決算)	(決算)	(決算見込)	(決算)	(決算)	(決算)	(決算)	(決算)	(決算)	(決算)	(決算)	(決算)	(決算)	(決算)
収益的収入	1 総収入	104,434	130,910	129,192	102,303	103,978	106,150	106,244	106,339	108,626	107,640	106,655	105,671	104,667	
	(1) 営業収入	104,406	130,816	128,673	101,432	103,012	105,091	105,091	105,091	107,283	106,200	105,116	104,033	102,949	
	ア 料工受託工事の収入	104,406	130,816	128,673											
	ウ その他収入				101,432	103,012	105,091	105,091	105,091	105,091	107,283	106,200	105,116	104,033	102,949
	ア 他会社繰入金	28	94	519	871	966	1,059	1,153	1,248	1,343	1,440	1,539	1,638	1,738	
	イ その他収入	28	94	519	871	966	1,059	1,153	1,248	1,343	1,440	1,539	1,638	1,738	
	イ 費用	46,059	50,859	48,475	24,120	38,895	35,669	32,493	19,957	22,088	17,900	22,060	22,060	37,711	62,662
	(1) 営業費用	43,482	47,575	45,267	20,059	33,435	32,665	27,804	14,345	16,253	12,427	19,664	19,664	33,520	59,589
	ア 職員給与	2,252	2,301	2,671	2,732	2,732	2,732	2,732	2,732	2,732	2,732	2,732	2,732	2,732	2,732
	イ 退職手当														
支的収入	イ 他収入	41,230	45,274	42,596	17,327	30,703	29,933	25,072	11,613	13,521	9,695	16,932	30,788	56,857	
	(2) 営業費用	2,577	3,284	3,208	4,061	5,460	3,004	4,689	5,612	5,835	5,473	2,396	4,191	3,073	
	ア 支払利息														
	イ 一時借入金利息														
	イ 他	2,577	3,284	3,208	4,061	5,460	3,004	4,689	5,612	5,835	5,473	2,396	4,191	3,073	
	3 収支差引(A)-(D)-(E)	58,375	80,051	80,717	78,183	65,084	70,481	73,751	86,382	86,538	89,740	84,595	67,960	42,026	
	資本的収入	1 資本的収入													
		(1) 地方債													
		うち資本費平準化債													
		(2) 他会計補助金													
(3) 他会計借入金															
(4) 固定資産売却代金															
(5) 国(都道府県)補助金															
(6) 工事負担金															
(7) その他															
2 資本的支出		58,364	74,954	85,243	70,331	56,642	61,947	65,123	77,659	77,719	80,824	75,581	58,847	32,812	
(1) 建設改良費															
(2) 地方債償還金															
(3) 他会計長期借入金返還金															
(4) 他会計への繰出金	58,364	74,954	85,243	70,331	56,642	61,947	65,123	77,659	77,719	80,824	75,581	58,847	32,812		
(5) その他															
3 収支差引(F)-(G)	△ 58,364	△ 74,954	△ 85,243	△ 70,331	△ 56,642	△ 61,947	△ 65,123	△ 77,659	△ 77,719	△ 80,824	△ 75,581	△ 58,847	△ 32,812		

駅北

(単位:千円, %)

区分	年度	令和5年度 (決算)	令和6年度 (決算)	令和7年度 (決算) (見込)	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度	令和14年度	令和15年度	令和16年度	令和17年度
収支再差引	(E)-(I)	11	5,097	△ 4,526	7,852	8,442	8,534	8,628	8,723	8,819	8,916	9,014	9,113	9,214
積立金	(K)	11	72	499	7,852	8,442	8,534	8,628	8,723	8,819	8,916	9,014	9,113	9,214
前年度からの繰越金	(L)			5,025										
前年度繰上充用金	(M)													
形式収支	(J)-(K)+(L)-(M)		5,025											
翌年度へ繰り越すべき財源	(O)		5,025											
実質収支	(P)													
(N)-(O)	(Q)													
赤字比率	(Q) (E)-(C) × 100													
収益的収支比率	(A) (D)+(H) × 100	227	257	267	424	267	298	327	533	492	601	483	280	167
地方財政法施行令第16条第1項により算定した 資金不足額	(R)													
営業収益 - 受託工事収益	(B)-(C)	104,406	130,816	128,673	101,432	103,012	105,091	105,091	105,091	107,283	106,200	105,116	104,033	102,949
地方財政法による 資金不足の比率	((R)/(S) × 100)													
健全化法施行令第16条により算定した 資金不足額	(T)													
健全化法施行規則第6条に規定する 解消可能資金不足額	(U)													
健全化法施行令第17条により算定した 事業の規	(V)													
健全化法第22条により算定した 資金不足比率	((T)/(V) × 100)													
他会計借入金残高	(W)													
地方債残高	(X)													
○他会計繰入金														
区分	年度	令和5年度 (決算)	令和6年度 (決算)	令和7年度 (決算) (見込)	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度	令和14年度	令和15年度	令和16年度	令和17年度
収益的収支分														
うち基準内繰入金														
うち基準外繰入金														
資本的収支分														
うち基準内繰入金														
うち基準外繰入金														
合計														